

ICT 基盤・サービスの高度化に伴う
利用者意識の変化等に関する調査研究

報告書

2012年3月

総務省 情報通信国際戦略局情報通信経済室
(委託先：株式会社 三菱総合研究所)

内容

1. 本調査の目的と概要	1
1.1 本調査の目的	1
1.2 本調査の概要	1
2. 国民の意識変化に係る郵送アンケート調査	2
2.1 概要	2
2.1.1. 調査の狙い	2
2.1.2. 郵送アンケート調査の設計概要	3
2.1.3. 回答者の基本属性・ICTの利用状況	4
2.2 主要ICTアプリケーションに対する利用者意識調査	9
2.2.1. 対象とするICTアプリケーション	9
2.2.2. 認知状況	10
2.2.3. 利用状況	12
2.2.4. 利用実態	13
2.2.5. 満足度等の評価	15
2.2.6. 今後の利用意向	17
2.2.7. 評価のまとめ	18
2.3 ICT基盤・サービスの高度化に伴うメディアへの意識等の変化に関する調査	19
2.3.1. 評価・分析の枠組み	19
2.3.2. 各メディアの利用時間	21
2.3.3. 情報の種類別の入手メディア	21
2.3.4. 各メディアの評価	25
2.3.5. 各メディアの重要度等に関する比較（複数回答に基づく分析）	30
2.3.6. 各評価指標の評価と変化の関係	35
2.3.7. メディアの重視点	38
2.3.8. （参考）図表の数値	40

参考資料：郵送アンケート調査票

1. 本調査の目的と概要

1.1 本調査の目的

ワイヤレスを含むブロードバンド・インターネットの普及、放送のデジタル化など ICT 基盤・サービスの高度化が進展する中で、我が国においては国連の電子政府準備度指数でも第 17 位にとどまる（2010 年）など ICT 利活用の進展が依然遅れていると指摘されている。他方、ICT メディアについては広範な融合・連携が進展しており、最近のスマートフォン、タブレット等の普及に伴い、利用者側の ICT 利用動向にも大きな変化が生じている。

このような状況を国民意識の点から把握・分析するため、郵送アンケート調査により、国民の ICT アプリケーションの認知、ICT に対する意識等の変化について分析を行った。

1.2 本調査の概要

本報告書は、主に ICT に対する利用者の意向調査について結果を整理するものである。具体的には、ICT 利用環境の高度化に伴う利用者意識の変化に着目し、利用者意識の実態とその背景について分析を実施した。全国を対象とする郵送アンケート調査によって実態の把握を行い、アンケート調査・分析は、「主要な ICT アプリケーションに対する利用者の意識」及び「メディアに対する意識の変化」の 2 項目をテーマとして設定した。

2. 国民の意識変化に係る郵送アンケート調査

2.1 概要

2.1.1. 調査の狙い

本節では、国民の間に浸透したICT環境に関して、主要ICTアプリケーションに対する利用意識、放送のデジタル化・インターネットの普及等によるメディアへの意識等の変化について、郵送アンケート調査の企画・実施・集計・分析を行った。

なお、本調査に当たっては、東京大学情報学環橋元教授の助言・協力を得て、実施・分析を行った¹。

本調査は、国内では新たなアプリケーションやメディアが隆盛しているにもかかわらず、1.1で触れたように、ICT利活用の進展が依然として他国に比して遅れているという状況を鑑み実施するものである。そのため、利用者意識に大きな影響を及ぼすと考えられる要因を適切に抽出し、それに対する意識を調査する必要がある（主として、下記調査）。また、国民がメディアに対する意識についてICT環境の変化がどの程度影響を与えているかについては、年代等の利用者の属性や、ICTの利用実態と密接に係るものと考えられ、その関係性を明らかにする必要がある（主として、下記調査）。

主要ICTアプリケーションに対する利用者意識調査

主要なICTアプリケーションが、国民にどのように認知され利用されているのか、また認知されていない場合にはその背景や理由を把握し分析する。

なお、調査計画の策定に当たっては、行政、医療、教育、テレワーク等公共分野を中心にICTアプリケーションを選定することとし、その上で、選定したICTアプリケーションに対する国民の利用動向等についての分析を行う。

ICT基盤・サービスの高度化に伴うメディアへの意識等の変化に関する調査

放送のデジタル化やインターネット、携帯電話（スマートフォンを含む）の本格普及等によるモバイル化の進展等により、利用者のメディアに対する意識がどのように変化をしたか等について把握し分析する。

なお、調査計画の策定に当たっては、ICTの利用環境の変化と利用動向の変化の関連性について分析するため、時系列で利用動向の変化との関連を分析できるようにした。

¹ 本調査では、「東日本大震災等によるICTへの意識等の変化」について郵送アンケートを通じて調査を行った。同調査結果については、総務省情報通信政策研究所の報告資料を参照されたい。

2.1.2. 郵送アンケート調査の設計概要

図表 2.1-1 及び図表 2.1-2 に郵送アンケート調査の設計概要を示す。

図表 2.1-1 郵送アンケート調査の概要

項目	概要
調査方法	郵送調査法
調査対象	全国の13歳以上69歳までの男女
調査期間	2012年2月下旬～3月上旬
抽出方法	実査を担当したアンケート会社のモニター（約91万人）の属性情報を活用し、下記の割付に基づく無作為抽出
割付方法	性・年代並びに地域ブロック毎について有意な結果が得られるように、当該区分について実際の人口比率に基づき比例割付を行った。 - 性（2区分）×年代（10歳刻みの6区分） - 地域ブロック（北海道/東北/関東/北陸/甲信越/東海/近畿/中国/四国/九州・沖縄）
サンプル数	モニターから2,256人を抽出。有効回答数は1,625サンプル（回収率：72.0%）

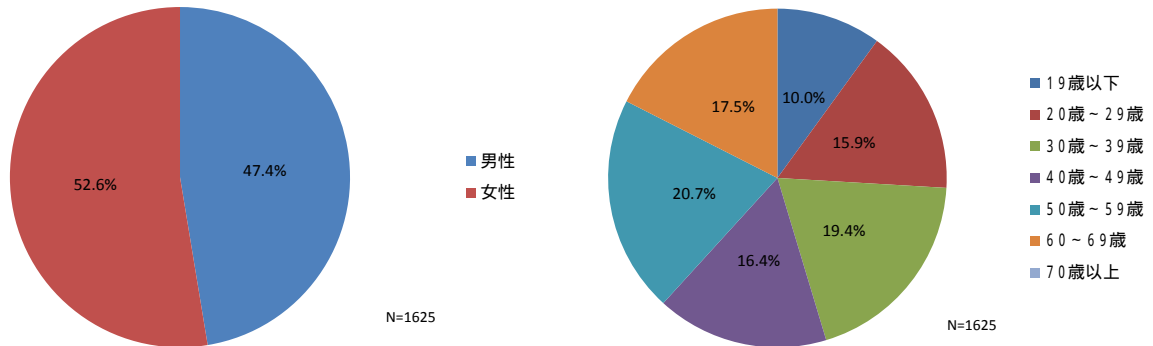
図表 2.1-2 発送数及び回収数

発送数		北海道	東北	関東	北陸	甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄		
		北海道	青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県	富山県・石川県・福井県	新潟県・山梨県・長野県	岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県	徳島県・香川県・愛媛県・高知県	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県		
セグメント	性	年齢										合計	
1	男性	13歳～19歳	5	9	42	4	5	15	22	7	4	15	128
2		20歳～29歳	11	16	76	5	9	27	38	13	7	25	227
3		30歳～39歳	10	16	71	4	9	24	34	13	7	23	211
4		40歳～49歳	9	13	60	4	7	21	30	10	6	20	180
5		50歳～59歳	10	16	73	6	9	26	36	13	7	24	220
6		60歳～69歳	9	14	66	5	8	23	32	11	6	22	196
7	女性	13歳～19歳	5	8	37	3	5	13	20	7	3	13	114
8		20歳～29歳	10	15	68	5	8	25	35	12	7	23	208
9		30歳～39歳	12	15	67	4	9	23	32	12	7	21	202
10		40歳～49歳	8	12	56	4	7	20	28	9	5	19	168
11		50歳～59歳	9	15	68	5	9	24	33	12	7	23	205
12		60歳～69歳	10	14	66	5	8	23	32	11	6	22	197
		合計	108	163	750	54	93	264	372	130	72	250	2256
回収数		北海道	東北	関東	北陸	甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄		
		北海道	青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県	富山県・石川県・福井県	新潟県・山梨県・長野県	岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県	徳島県・香川県・愛媛県・高知県	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県		
セグメント	性	年齢										合計	
1	男性	13歳～19歳	4	3	25	2	4	11	13	6	4	8	80
2		20歳～29歳	3	9	48	2	6	12	29	9	4	10	132
3		30歳～39歳	6	6	47	4	4	17	23	11	5	13	136
4		40歳～49歳	6	9	41	4	4	17	19	8	3	13	124
5		50歳～59歳	7	10	60	5	6	17	29	7	5	19	165
6		60歳～69歳	8	9	48	4	7	16	18	7	5	12	134
7	女性	13歳～19歳	5	6	25	3	4	10	16	3	2	9	83
8		20歳～29歳	3	7	43	3	4	20	23	9	4	11	127
9		30歳～39歳	12	15	60	4	9	19	27	10	5	19	180
10		40歳～49歳	6	7	51	3	5	19	24	6	4	18	143
11		50歳～59歳	7	13	52	4	9	20	27	10	7	22	171
12		60歳～69歳	10	10	52	3	6	19	20	9	5	16	150
		合計	77	104	552	41	68	197	268	95	53	170	1625
												回収率	72.0%

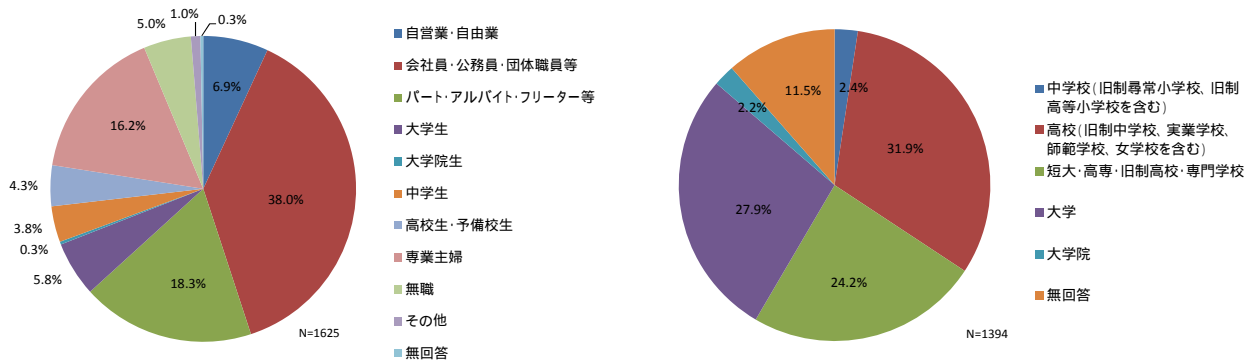
2.1.3. 回答者の基本属性・ICTの利用状況

(1) 基本属性

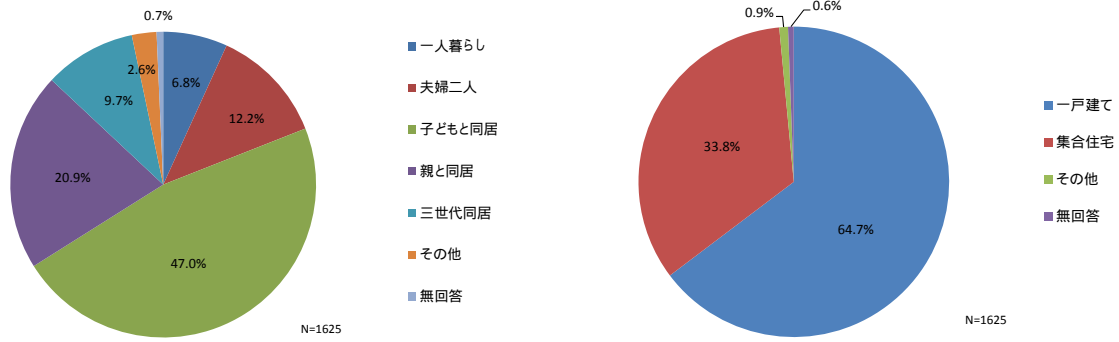
図表 2.1-3 ~ 図表 2.1-7 に回答者の基本属性を示す。



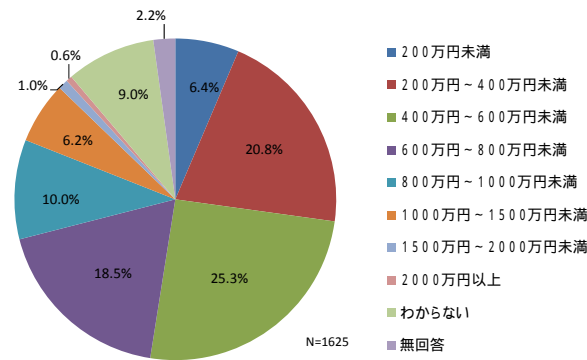
図表 2.1-3 性別・年齢



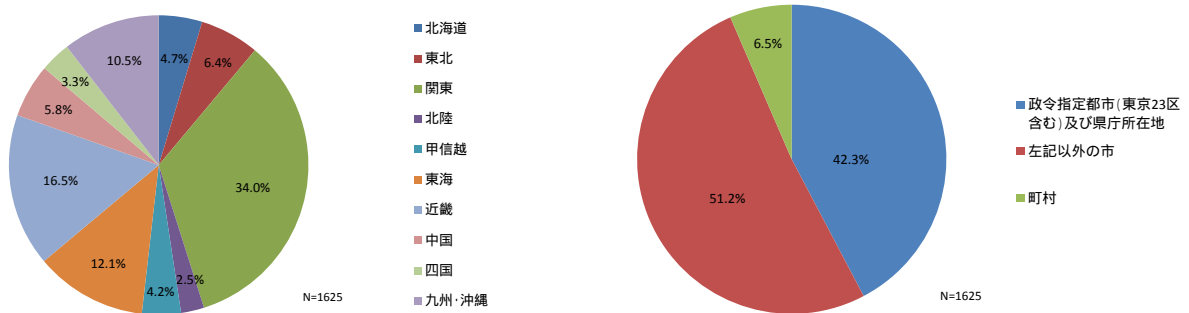
図表 2.1-4 職業・最終学歴



図表 2.1-5 家族構成・住居の種類

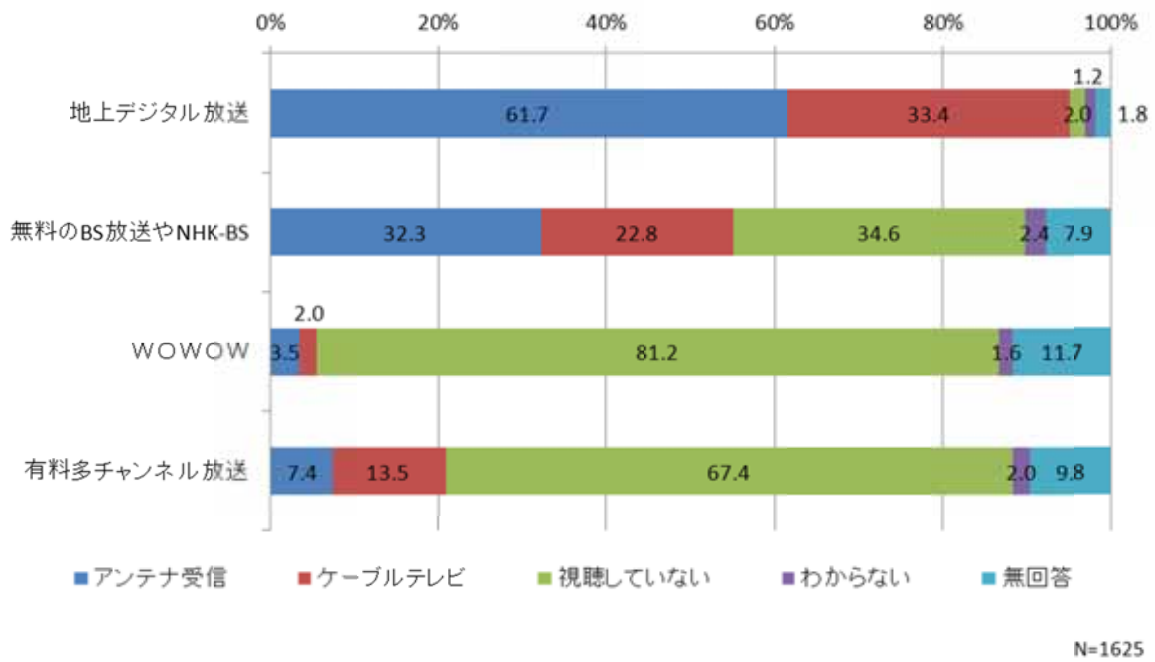


図表 2.1-6 世帯年収

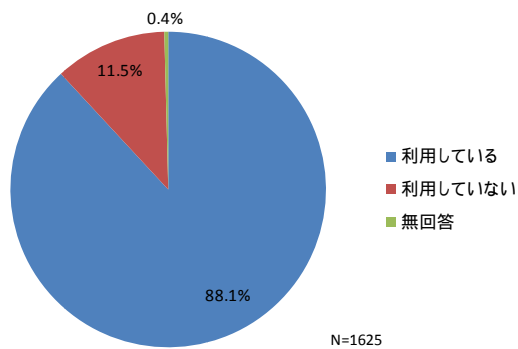


図表 2.1-7 居住地域・地域規模

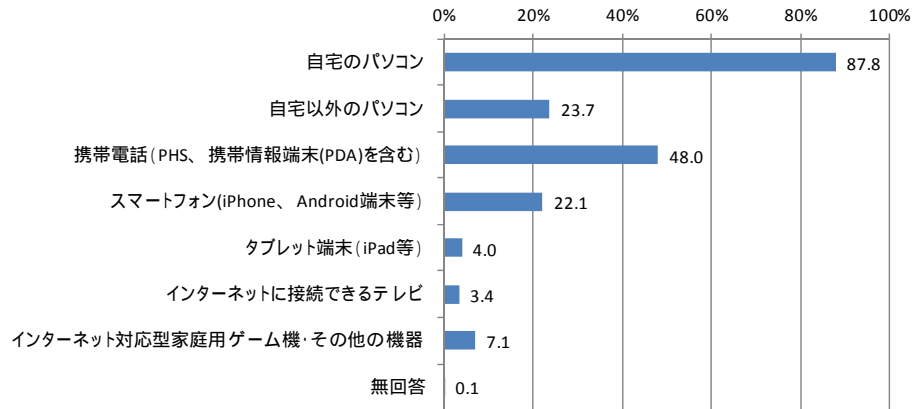
(2) ICT 利用状況



図表 2.1-8 自宅における放送サービス

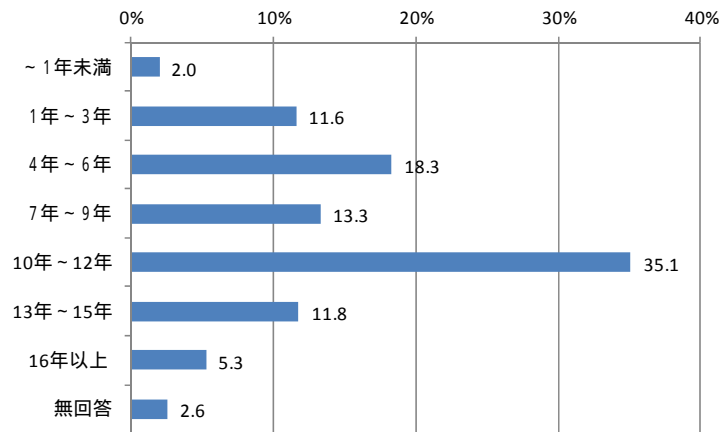


図表 2.1-9 インターネット利用状況



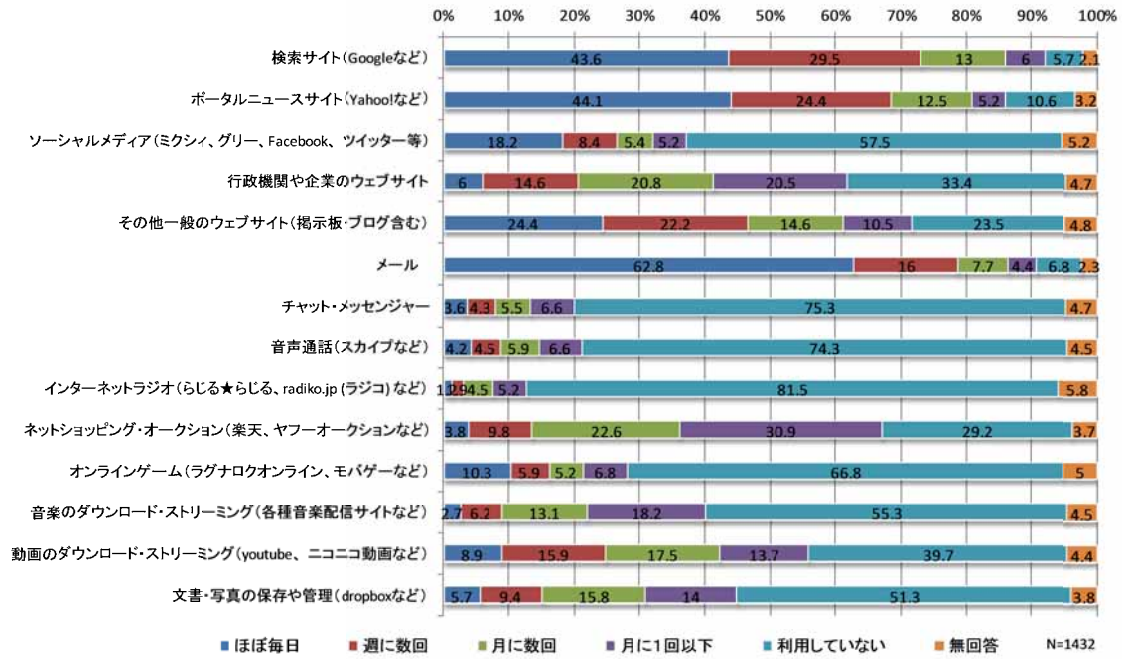
N=1432

図表 2.1-10 インターネット利用機器



N=1432

図表 2.1-11 インターネットの利用歴



図表 2.1-12 インターネット利用サービス

2.2 主要ICTアプリケーションに対する利用者意識調査

本節では、ICTアプリケーションに対する意識調査を行ったアンケート調査結果について説明し、得られた示唆等について整理を行う。

2.2.1. 対象とするICTアプリケーション

本節では、ICTアプリケーションとして、図表 2.2-1 のとおり、「行政」「医療」「教育」等のいわゆる公的分野におけるサービスを対象に、利用者意識について整理するものとする。これらのICTアプリケーションは、欧米諸国や韓国などのICT先進国をはじめ、諸外国において着目されるサービス群である。なお、下表のサービス一覧は、実際の国民に対する郵送アンケートの調査票にて、回答者に対して提示した文面そのものである。

本調査の結果を通じて、各アプリケーションに関して、国民にどのように認知され利用されているのか、また認知されていない場合にはその背景や理由を把握し、我が国の現状がどの程度か、またその潜在需要はどの程度かを浮き彫りにすることが狙いである。

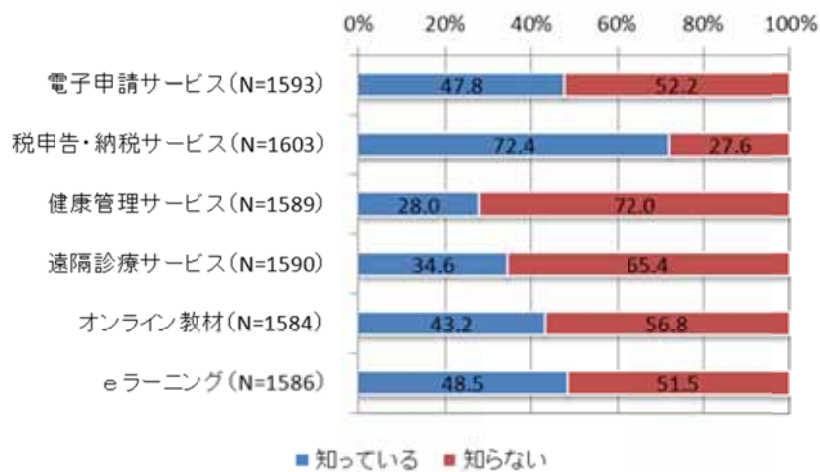
図表 2.2-1 本調査で対象とするサービス一覧

分野	サービス	内容
行政	1. 電子申請サービス	紙で行っている申請や届出などの行政手続を、インターネットを利用して自宅や勤務先から行えるようにするものです。e-Gov などがあります。
	2. 税申告・納税サービス	税務署に出向いて行う確定申告や納税、申請や届け出など手続きを、インターネットを利用して自宅や勤務先から電子的に行えるものです。e-Tax、eLTAX などがあります。
医療	3. 健康管理 サービス	体重、血圧、歩数、活動カロリーなど健康についての各種測定データをつかって利用者の健康状態を記録・管理したり、個人に合わせた助言や情報などを提供して健康管理や病気予防をサポートするものです。パソコンや携帯電話・スマートフォンを利用したサービスがあります。
	4. 遠隔診療 サービス	直接、病院や診療所に行かなくても、インターネットを通じて、医師の診察や診断を受けることができるものです。テレビ電話などを利用した診察や、診療データなどを送付して行う診断サービスなどが挙げられます。
教育	5. オンライン教材	インターネットを通じて、電子化された教材をパソコンや携帯電話・スマートフォンやタブレット端末などから利用できるものです。
	6.eラーニング (遠隔教育サービス)	インターネットを通じて、試験等を受けたり、国内外の教育機関(大学、予備校、語学学校、資格学校等)の授業を受けることができるサービスです。テレビ電話などで教師と実際に会話等ができるものも含まれます。

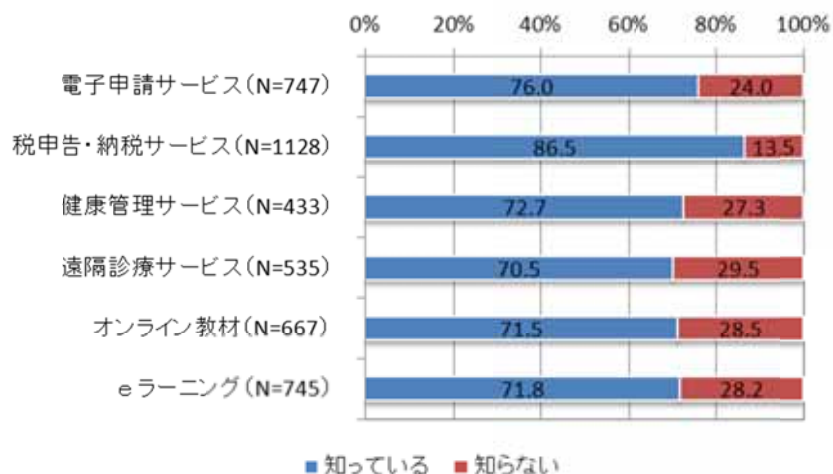
2.2.2. 認知状況

以降の回答結果は全て無回答を除く。

各公共 ICT サービスの認知状況については、図表 2.2-2 及び図表 2.2-3 のとおり、税申告・納税サービスについては、他と比べると高かった（72.4%）。一方で、他のサービスについてはいずれも知らないと答えた者が、知っていると答えた者を上回っており、認知度は低い。特に、医療・福祉系サービスについては、その傾向が顕著である。公的分野での ICT 利活用に当たっては、周知面での課題があることがうかがえる。また、サービスを知っていると回答した者に対して、サービスの内容まで知っている割合を聴取したところ、税申告・納税サービスは 86.5%、そのほかも 7 割程度となっている。

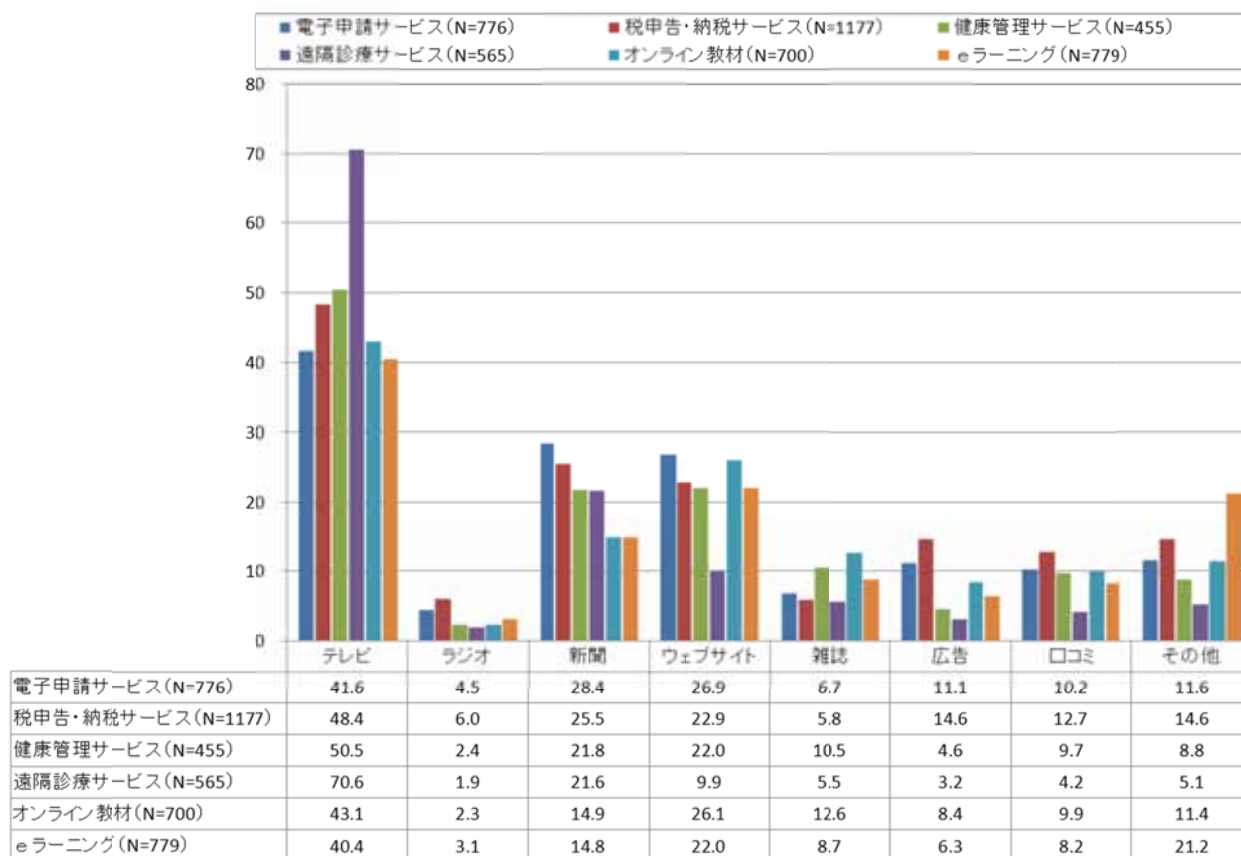


図表 2.2-2 サービス名称の認知度[対象：全員]



図表 2.2-3 認知度（内容）[対象：各アプリの名称の認知者]

図表 2.2-4 に各アプリケーションの認知経路を示す。いずれのアプリケーションにおいても、テレビが最も高い認知経路となっている。次いで、新聞・ウェブサイト(インターネット)となっており、主としてこれら3つのメディアが大きな役割を果たしているといえる。個々についてみると、遠隔診療サービスについては、とりわけテレビを経由した認知が高い(70.6)。また、教育分野については、テレビに次いでウェブサイトが高い傾向が見られる。

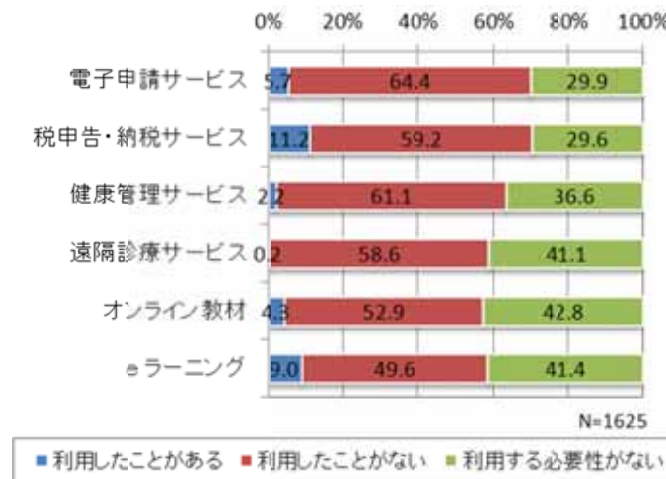


注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

図表 2.2-4 認知経路[対象：名称・内容の認知者]

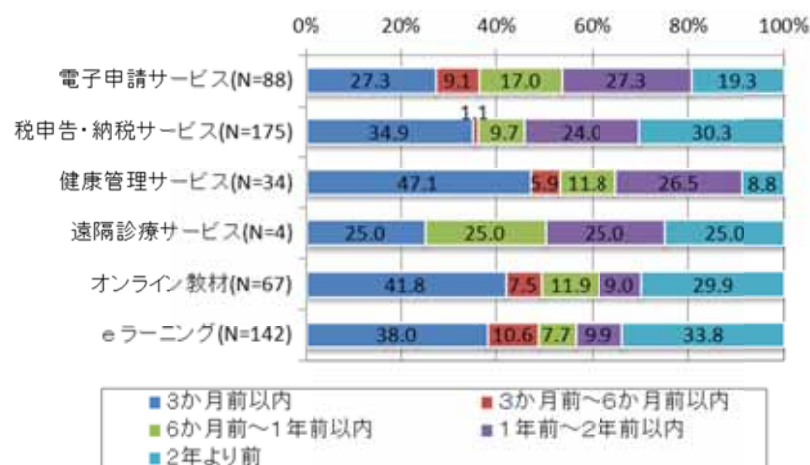
2.2.3. 利用状況

各公共 ICT サービスの利用状況を見ると、図表 2.2-5 のとおり、税申告・納税サービスが 11.2% で最も高いが、他のサービスは全て 10% 未満であり、いずれのサービス利用も低調な状況にある。各サービスとも、消費者によって利用の必要性が低ければ、必ずしも利用されない種類のサービスではある。しかしながら、公的分野における ICT の利活用が認知段階でとどまっており、利活用段階には十分に至っていないことは、当該 ICT サービスを消費者にとって利便性の高いサービスとして発展させていく上でも大きな課題である。

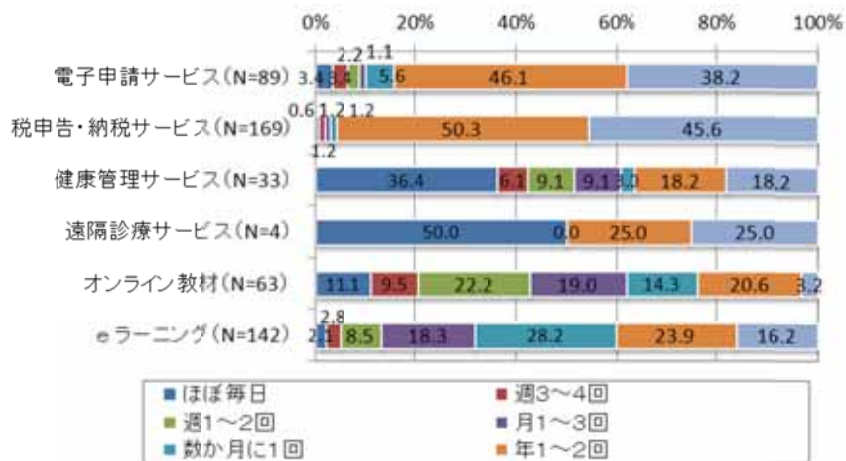


図表 2.2-5 利用経験[対象：全員]

各公共 ICT サービスの最近の利用時期と利用頻度を、図表 2.2-6 と図表 2.2-7 に示す。直近（3 ヶ月以内）で使われているものでは、健康管理サービスが 47.1% で最も高く、次いでオンライン教材が 41.8% となっている。図表 2.2-7 から分かるように、とりわけ医療系アプリケーションは、その性質上、比較的常時使うケースが多いと推察される。



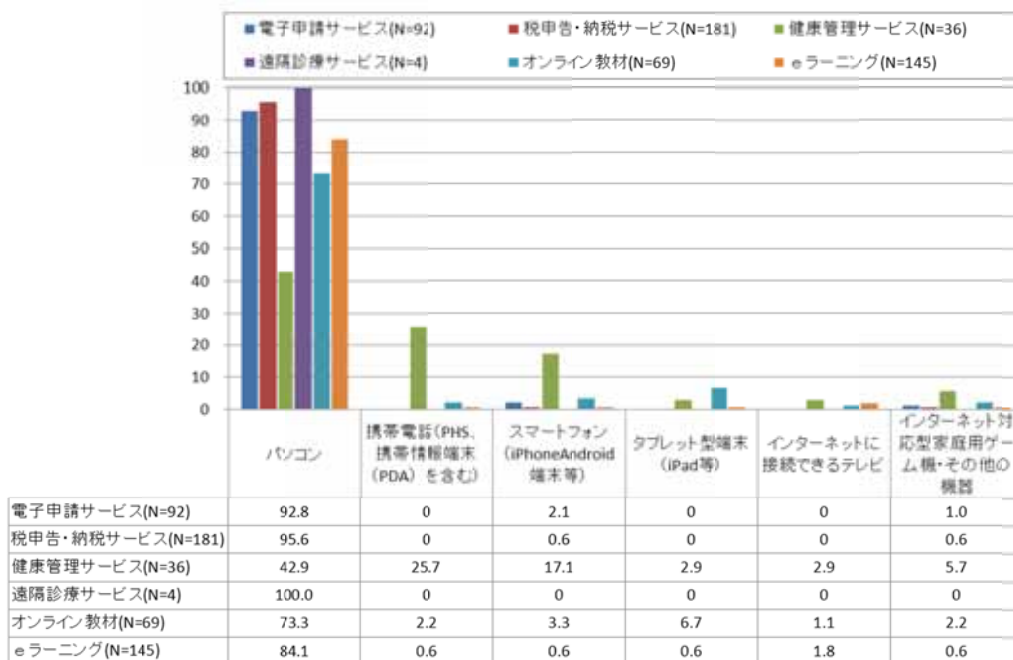
図表 2.2-6 最近の利用時期[対象：利用経験者]



図表 2.2-7 利用頻度[対象：利用経験者]

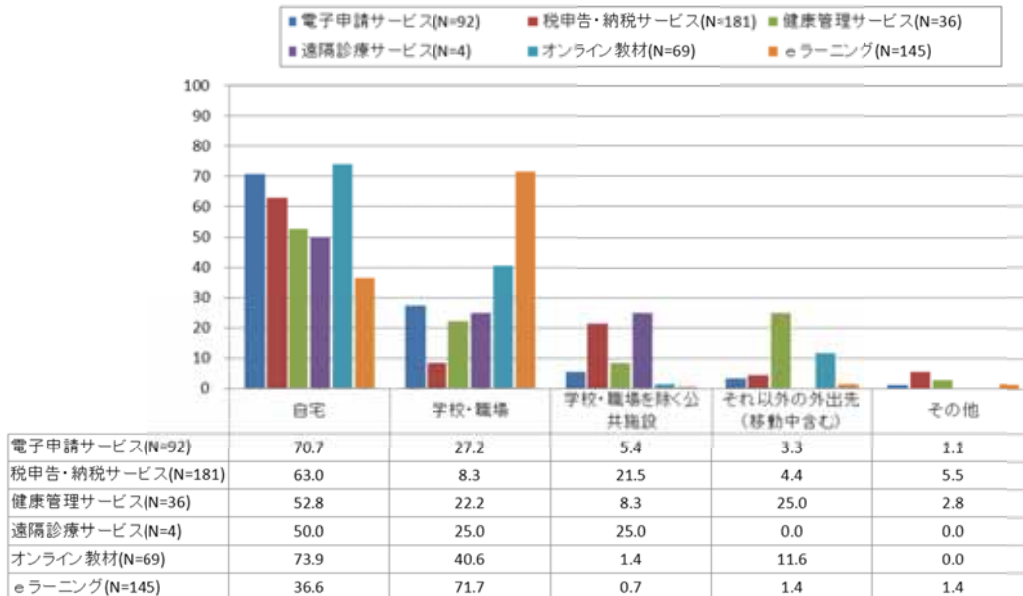
2.2.4. 利用実態

公的サービスの利用者に対し、利用機器について聞いたところ、図表 2.2-8 のとおり、大半のサービスについて、パソコンによるものが殆どとなっている。インターネットの利用実態と対比すると、公的サービスの利用がパソコン中心になっているといえる。ただし、健康管理サービスについては、携帯電話やスマートフォン等の利用が比較的多い。また、利用場所については、図表 2.2-9 のとおり、eラーニングを除き「自宅」と回答した者が最も多く、通常は自宅からの利用が多い傾向が見られる。一方、移動体端末やネットワークの高度化に伴い、外出先等での高度なアプリケーションの利用も現実的なものとなってきており、より消費者にとって利便性の高い公的サービスの訴求が期待される。



注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

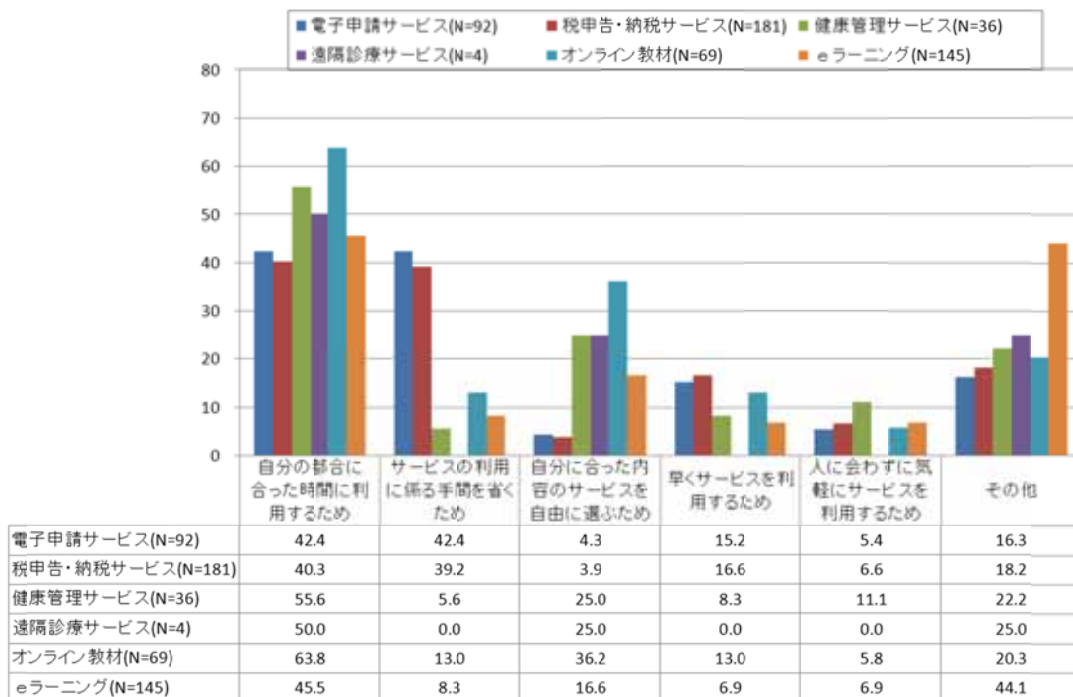
図表 2.2-8 各 ICT アプリケーションを利用している機器[対象：利用経験者]



注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

図表 2.2-9 各 ICT アプリケーションを利用している場所[対象：利用経験者]

各アプリケーションを利用している目的としては、図表 2.2-10 のとおり、主として、「自分の都合に合った時間に利用するため」となっている。アプリケーション別にみると、行政サービスについては「サービスの利用に係る手間を省くため」といった効率化、医療・教育サービスについては「自分に合った内容のサービスを自由に選ぶため」といった便益の観点の目的が次に高い傾向として見られる。

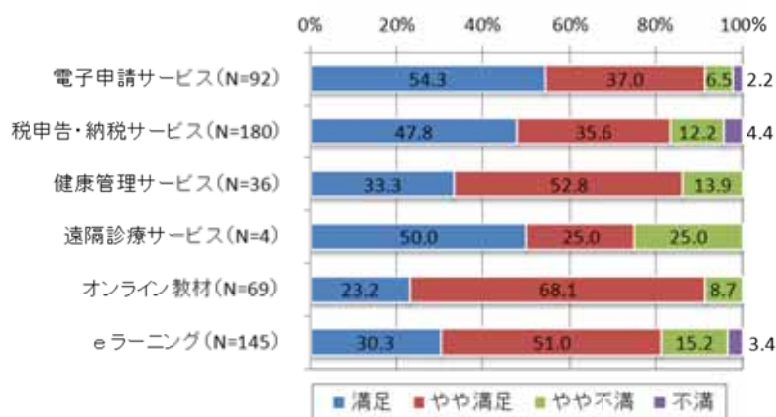


注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

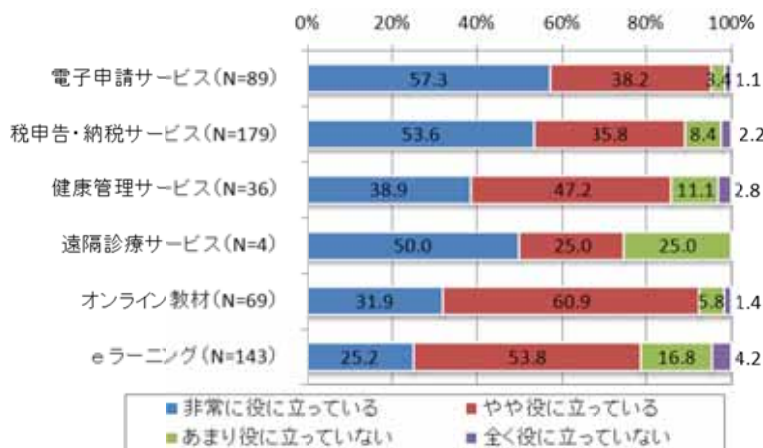
図表 2.2-10 各 ICT アプリケーションを利用している目的[対象：利用経験者]

2.2.5. 満足度等の評価

利用者に対して、満足度を聞いたところ、図表 2.2-1 1 のとおり、電子申請サービスが 91.3%（「満足とやや満足」の合計と最も高く、またサービス全般にわたって多くの利用者が満足している傾向が見られる。全般に低調な利用率にもかかわらず、利用者については満足度が高いことがわかる。その他、生活への貢献度に関する認識としては、図表 2.2-1 2 のとおり、全サービスについて 75%以上が「非常に役に立っている」または「役に立っている」と回答している。特に、行政サービスと遠隔診療サービスについては 50%以上が「非常に役に立っている」と回答しており、満足度が高い傾向が見られる。

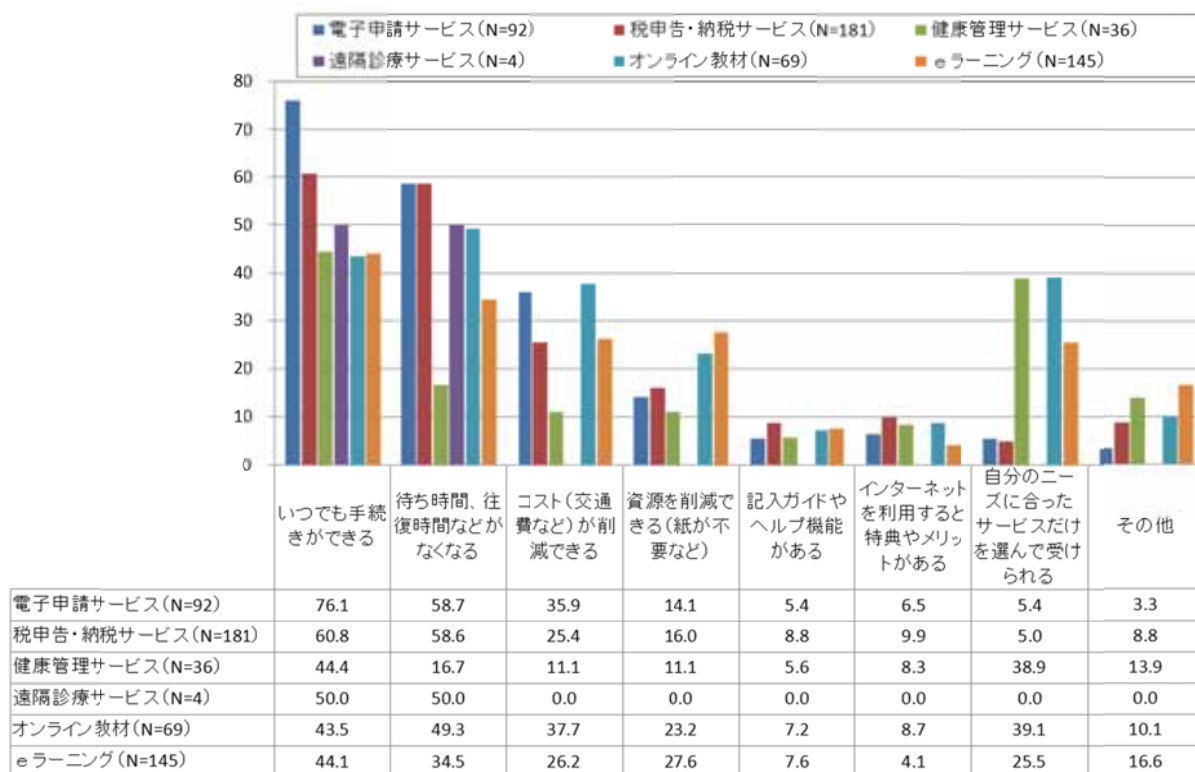


図表 2.2-1 1 利用満足度[対象：利用経験者]



図表 2.2-1 2 生活における貢献[対象：利用経験者]

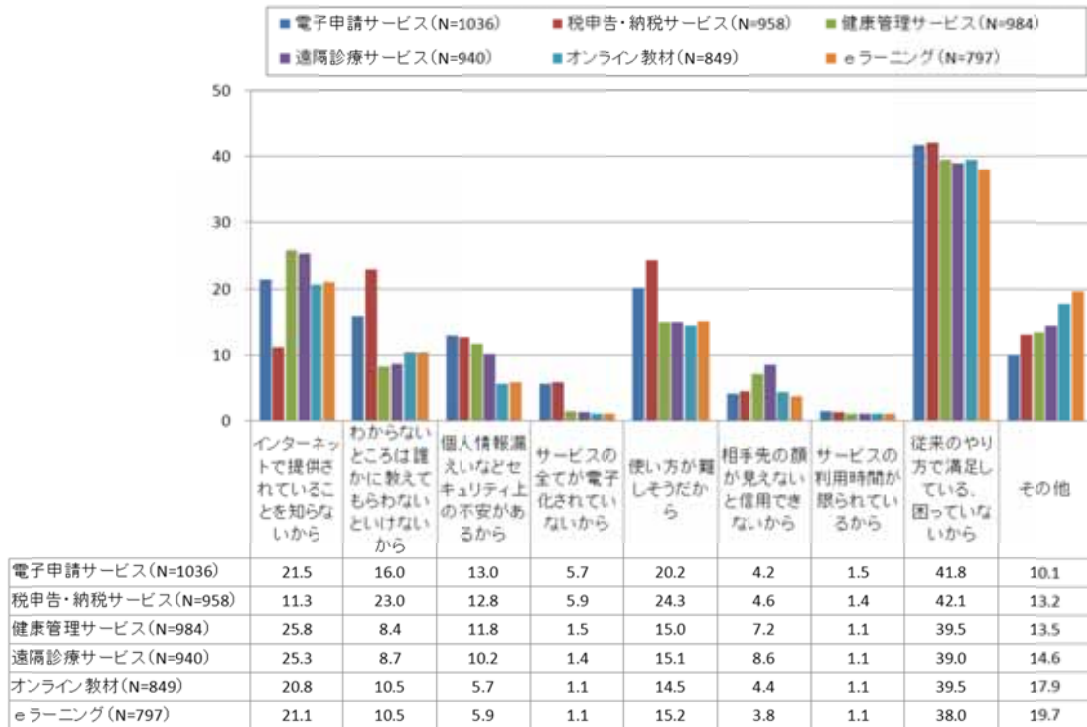
各アプリケーションの利用におけるメリットとしては、図表 2.2-13 のとおり、主として「いつでも手続きができる」「待ち時間、往復時間などがなくなる」と認識されている傾向が高い。特に行政サービスについては、これらの認識が高い。他方、健康管理サービスや教育サービスにおいては、「自分に合ったサービスだけを選んで受けられる」というサービスの利便性が高く評価されている。



注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

図表 2.2-13 利用におけるメリット[対象：利用経験者]

他方、現在公共 ICT アプリケーションを利用していない人に対して、利用しない理由を聞いたところ、図表 2.2-14 のとおり、「従来のやり方で満足している、困っていないから」が圧倒的に高い。次いで「インターネットで提供されていることを知らないから」が高い傾向が見られる。我が国の場合、従来の非 ICT 環境において十分な品質が担保されていることも背景にあると考えられるが、こうした ICT を利用したサービスの利便性の訴求や、周知や啓蒙等の不足は課題である。

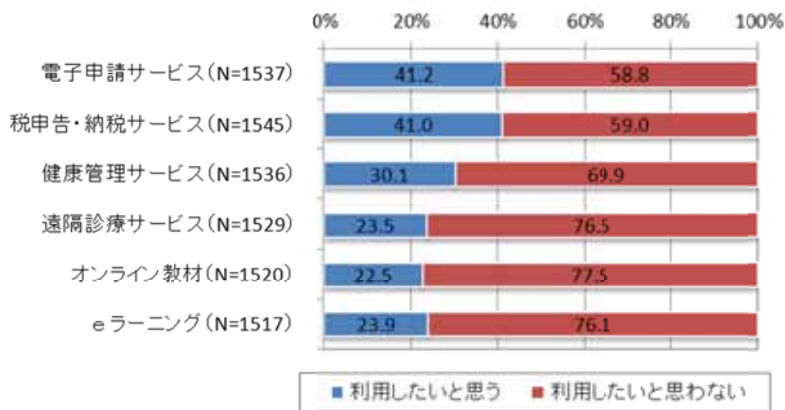


注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

図表 2.2-14 各 ICT アプリケーションの非利用理由[対象：非利用経験者]

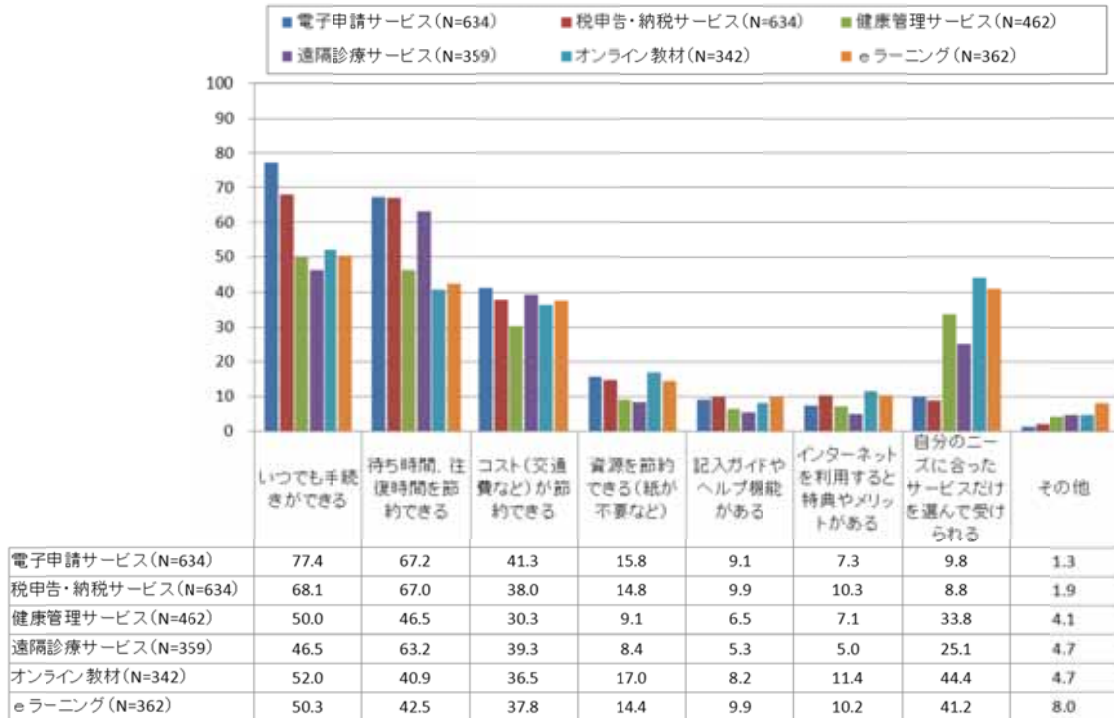
2.2.6. 今後の利用意向

全回答者に対して、各サービスの今後の利用意向について聞いたところ、図表 2.2-15 のとおり、サービスの認知が低いことも影響して、「利用したいと思わない」との回答がいずれも過半数を占めており、前述した利用者の満足度との間にギャップが見られる。



図表 2.2-15 各 ICT アプリケーションの利用意向[対象：全員]

利用意向者に対して、期待する利用の効果やメリットについて聞いたところ、図表 2.2-16 のとおり、「いつでも手続きができる」「待ち時間、往復時間を節約できる」が、実際の利用者の評価と類似して高い。

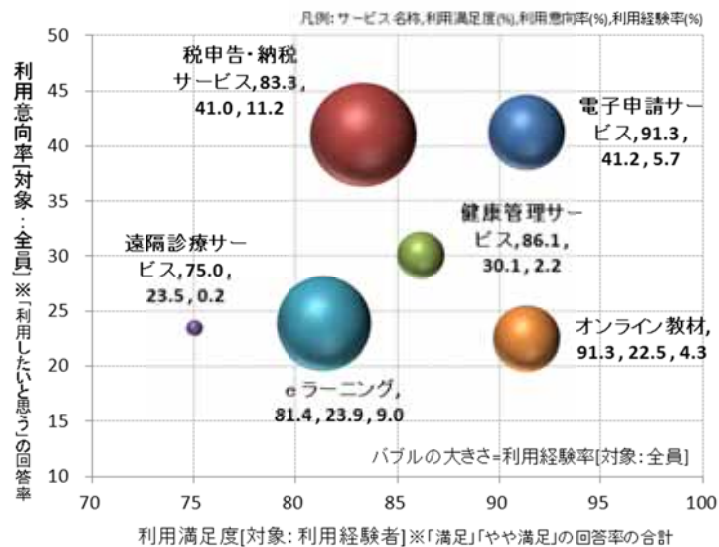


注) 数値は全てアンケート調査における回答率(%)を表記

図表 2.2-16 期待する利用の効果やメリット[対象:全員]

2.2.7. 評価のまとめ

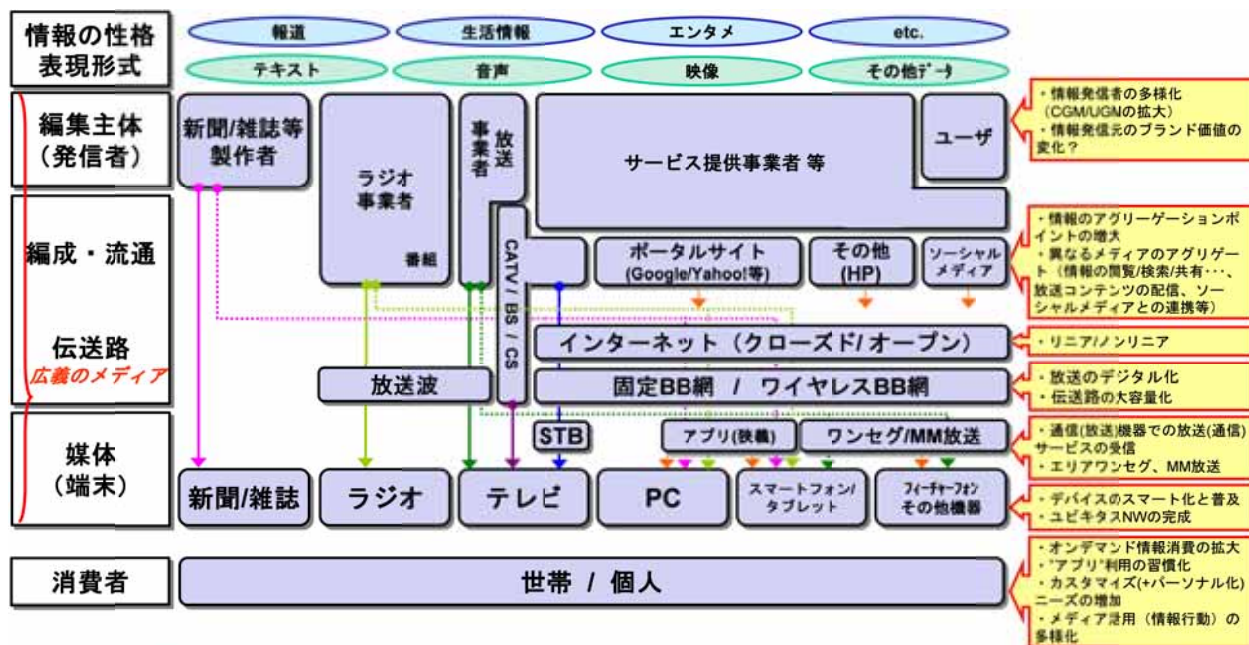
図表 2.2-17 に、これまで整理した結果に基づき、各 ICT アプリケーションの評価(利用満足度、利用意向率、利用経験率)を整理した。行政分野については、必要性が高いことから評価が他と比べて高い傾向である一方、今後さらに重要性を増す医療分野に係る公的 ICT については、政策的にも取り組むべき課題として挙げられる。



図表 2.2-17 各 ICT アプリケーションの評価まとめ

2.3 ICT 基盤・サービスの高度化に伴うメディアへの意識等の変化に関する調査

本節では、現状の情報メディアの社会的影響度を評価するとともに、主要メディアを取り巻く ICT 基盤・サービスの現状や構造変化によるメディア認識への影響について分析する（図表 2.3-1）。



➡ 上記の構造変化が及ぼすメディアの社会的影響力の変化をどう評価するか？

図表 2.3-1 メディアを取り巻く ICT 環境変化

2.3.1. 評価・分析の枠組み

本調査分析では、情報メディアの社会的影響力について、特にインターネットメディアの位置付けを計測する観点から調査を行っている。なお、ここでは情報メディアの社会的影響力を、さしあたり、情報の媒介を通じて、社会や国民の知識や行動に与える影響の度合いと定義している。

本調査における社会的影響力の評価は、評価指標として、利用率（接触機会、接触時間）、重要度（視聴者便益、社会における位置づけ）、信頼度（情報の品質、情報の量）、役立ち度（生活への貢献度）、話題性（情報の拡散力）の5項目を用いている。なお、重要度は、「情報源としての重要度」「楽しみとしての重要度」の2軸により構成している（図表 2.3-2）。



図表 2.3-2 評価指標

本調査における分析の枠組は、下表のとおりであり、メディアを10種類に分類し、それぞれについて利用率及び上記評価指標の現在評価（5段階評価、ただし話題性のみ2段階評価）及び過去3年間の変化（3段階評価）について回答を得た（複数回答）。なお、ここで「過去3年間」と定義したのは、インターネットの利活用の一つの起点となったとも言えるスマートフォンの登場期と、アンケート回答者がメディアに対する認知の変化を回答しやすいスパンを考慮して設定したものである。各設問の記述内容は、参考資料を参照されたい。

また、各評価指標の現在評価及び過去3年間の変化について、最も高いメディアを選択・回答を得た（単一回答）。以下、複数回答に基づく分析を「分析アプローチ1」、単一回答に基づく分析を「分析アプローチ2」と標記する。

	利用率	重視度				信頼度		役立ち度		話題性	
		情報源		楽しみ		評価	変化	評価	変化	評価	変化
		評価	変化	評価	変化						
1. テレビ											
2. ラジオ											
3. 新聞/雑誌											
4. 報道/文字サイト											
5. 報道/映像サイト											
6. その他一般映像サイト											
7. インターネットラジオ											
8. ソーシャルメディア											
9. 行政機関・企業サイト											
10. その他一般サイト											
それぞれ最も高いもの <small>※利用率が高いメディアほど高く評価される</small>	-	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

分析アプローチ1: 1-10のメディア項目

分析アプローチ2: 最後の「それぞれ最も高いもの」行

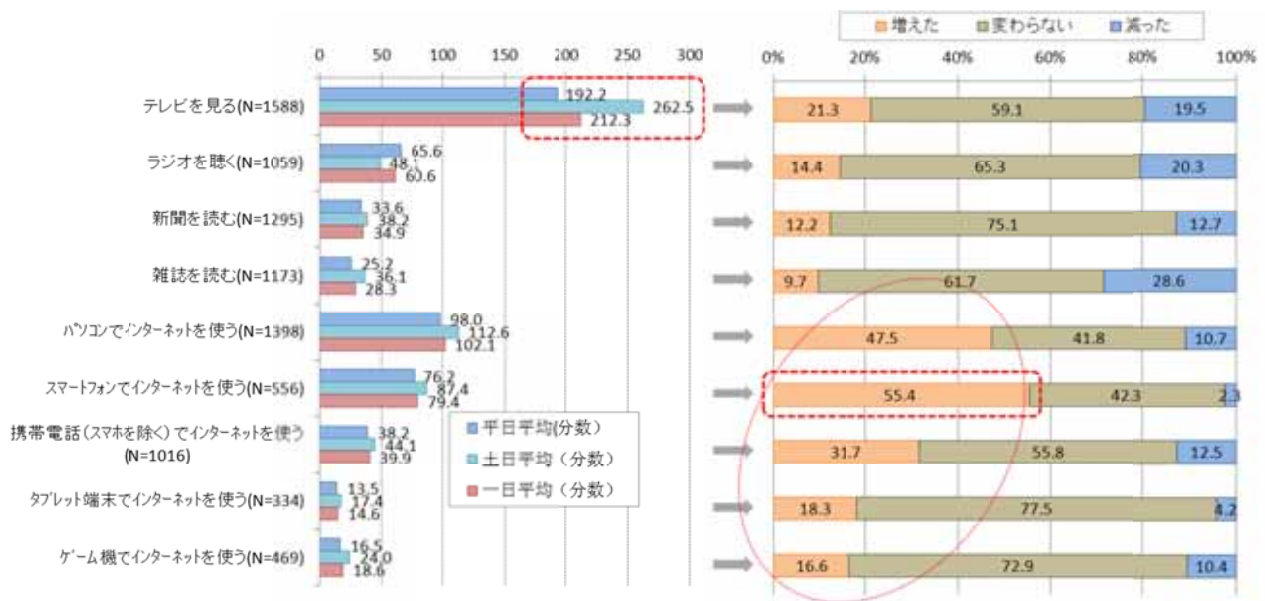
情報メディア	説明
報道/文字サイト	報道機関が提供する文字を中心とした情報サイト（ポータルニュースサイト（Yahoo!など）を含む）
報道/映像サイト	報道機関が提供する映像・動画を中心とした情報サイト
その他一般映像サイト	動画配信・動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画等）など
インターネットラジオ	インターネットを介して提供されるラジオ
ソーシャルメディア	ミクシィ、グリー、Facebook、ツイッター等
行政機関・企業サイト	行政機関や企業が提供する情報サイト
その他一般サイト	掲示板・ブログ含む

図表 2.3-3 評価・分析の枠組み

2.3.2. 各メディアの利用時間

各メディアを利用している回答者について、それぞれの1日の利用時間の平均値をみると、図表2.3-4のとおり、「テレビを見る」の3時間32分、「パソコンでインターネットを使う」の1時間42分、「スマートフォンでインターネットを使う」が1時間19分の順に高くなっている。なお、「スマートフォンでインターネットを使う」と、「携帯電話（スマートフォンを除く）でインターネットを使う」の利用時間の格差は約2倍となっている。

過去3年間の変化については、インターネット利用が全般的に増加しており、とりわけスマートフォンでインターネットを使うとの回答者では、55%が「増えた」と回答している。



注) 利用時間はアンケート結果(記述方式)に基づき、平日と休日における各メディアの平均利用時間/日について利用者一人当たり平均値を算出:

- 0~1時間:30分, 1~2時間:90分,...等とアンケートの選択肢が示す範囲の中間値で換算(10時間以上:600分とした)
- 「1日平均」= (「平日の利用時間」×5 + 「土休日の利用時間」×2) ÷ 7 として換算

注) 無回答は「変わらない」に集計

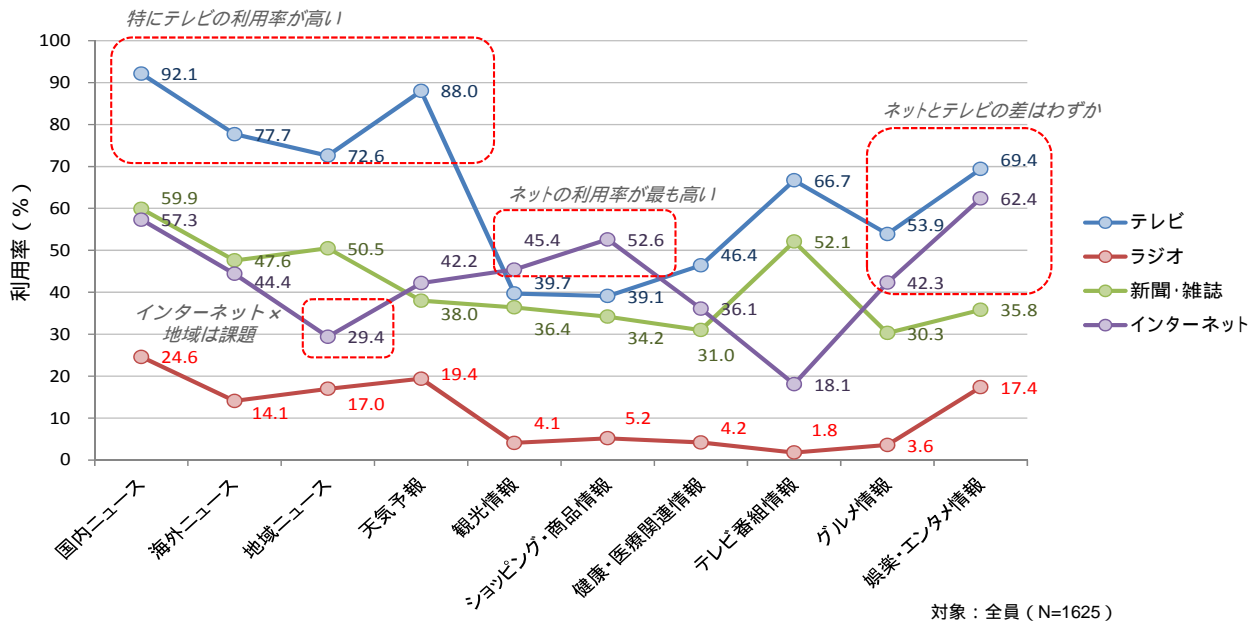
図表 2.3-4 各メディア行動の利用時間と3年前との比較

2.3.3. 情報の種類別の入手メディア

(1) 情報種類別の入手メディア

国内ニュース、海外ニュースなど情報の種類別に、どのような情報源から得ているか、当てはまるものすべてについて回答を得た。回答について、インターネット関係の情報源について一元化した上で集計した結果が図表2.3-5である。一部の情報の種類を除き、「テレビ」の利用率が全体的に高い。とりわけ、報道や天気予報に係る情報の入手メディアとしては突出している。

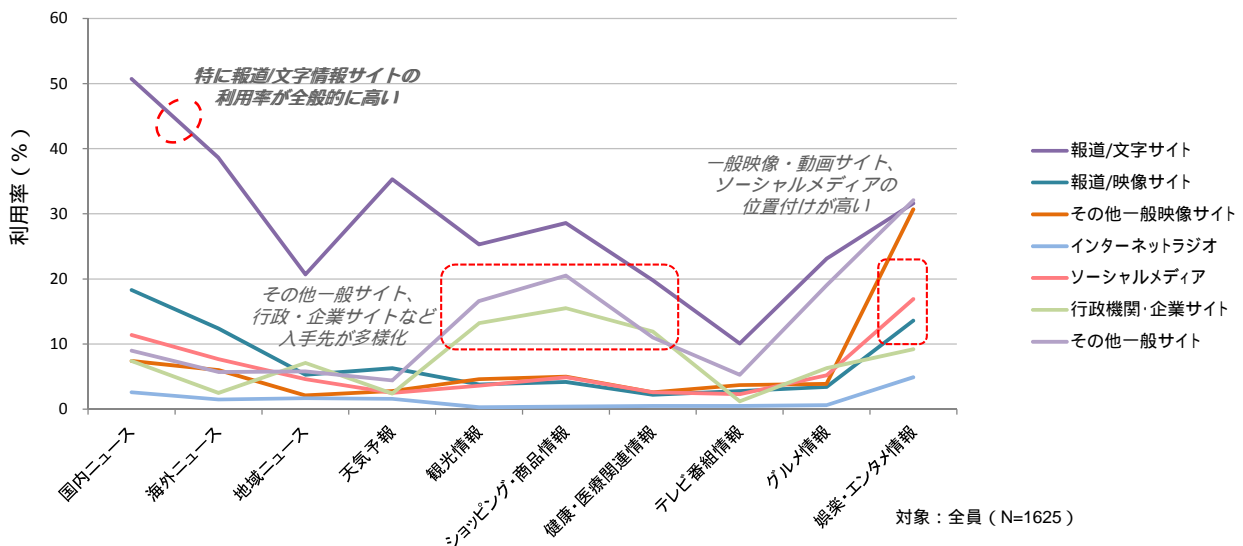
インターネット関係の情報源については、「観光情報」「ショッピング・商品情報」が入手メディアとして最も高く、「グルメ情報」「娯楽・エンタメ情報」についてもテレビと利用率の差は小さい。



インターネットについては7つの項目(図表 2.3-6の凡例参照)のいずれかを選んだ場合の割合

図表 2.3-5 情報種類別の入手メディア

インターネットの利用状況の内訳をみると、特に報道/文字情報サイトの利用率が全般的に高い傾向を示している。「観光情報」「ショッピング・商品情報」「健康・医療関連情報」については、その他一般サイト(ブログ・掲示板含む。)や行政機関・企業サイトの利用率が高い。「娯楽・エンタメ情報」においては、その他一般映像サイトやソーシャルメディアの利用が高まっている状況となっている。



図表 2.3-6 情報種類別の入手メディア (インターネットのみ)

図表 2.3-7 は、前頁までを数表に整理したものである。報道・天気予報以外においては、一般サイトや行政・企業サイトの位置付けが高くなっている。情報の種類それぞれについて、利用率が20%以上のメディアを抽出すると、特にショッピング・商品情報、娯楽・エンタメ情報については、インターネットの存在が大きく、情報の種類に応じて、メディア利用が多様化している傾向が見られる。

(N=1625)

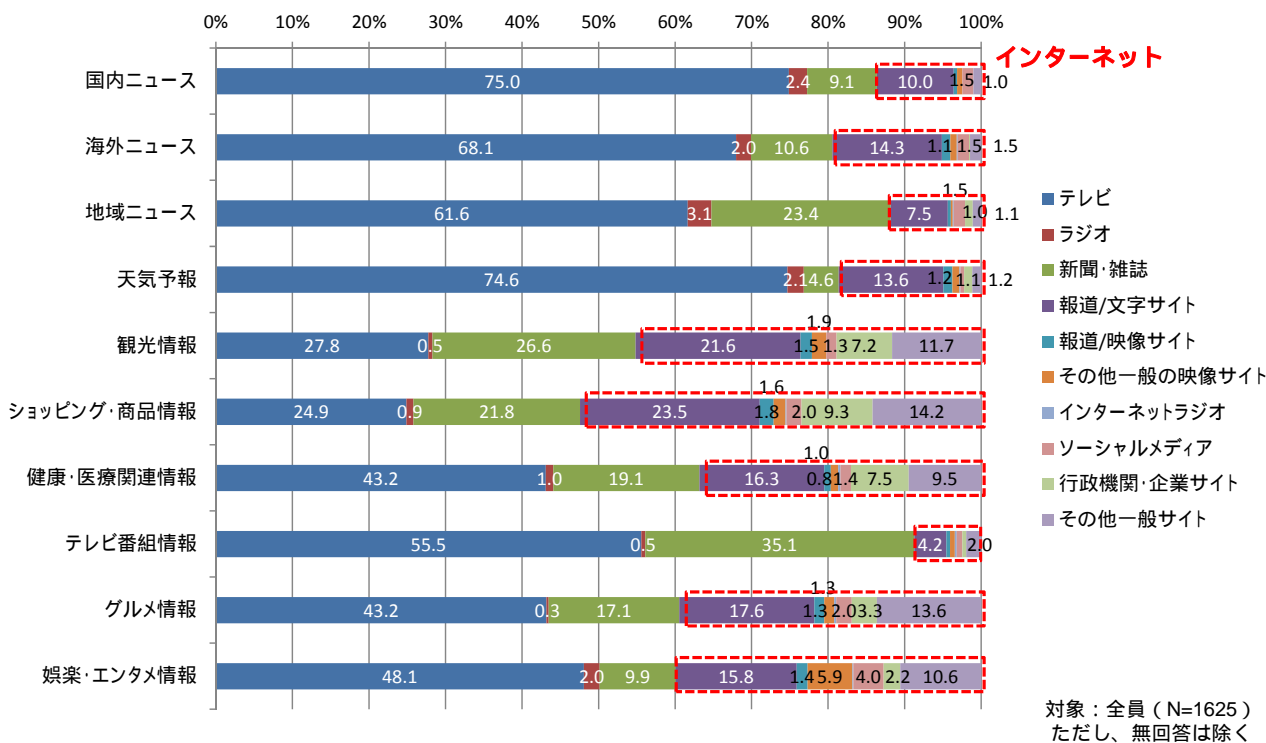
国内ニュース		海外ニュース		地域ニュース		天気予報		観光情報		ショッピング・商品情報		健康・医療関連情報		テレビ番組情報		グルメ情報		娯楽・エンタメ情報	
テレビ	92.1	テレビ	77.7	テレビ	72.6	テレビ	88.0	テレビ	39.7	テレビ	39.1	テレビ	46.4	テレビ	66.7	テレビ	53.9	テレビ	69.4
新聞・雑誌	59.9	新聞・雑誌	47.6	新聞・雑誌	50.5	新聞・雑誌	38.0	新聞・雑誌	36.4	新聞・雑誌	34.2	新聞・雑誌	31.0	新聞・雑誌	52.1	新聞・雑誌	30.3	新聞・雑誌	35.8
報道/文字サイト	50.7	報道/文字サイト	38.6	報道/文字サイト	20.7	報道/文字サイト	35.3	報道/文字サイト	25.3	報道/文字サイト	28.6	報道/文字サイト	19.8	報道/文字サイト	10.1	報道/文字サイト	23.1	一般サイト	32.1
ラジオ	24.6	ラジオ	14.1	ラジオ	17.0	ラジオ	19.4	一般サイト	16.6	一般サイト	20.5	行政・企業サイト	11.9	一般サイト	5.3	一般サイト	19.0	報道/文字サイト	31.6
報道/映像サイト	18.3	報道/映像サイト	12.4	行政・企業サイト	7.1	報道/映像サイト	6.3	行政・企業サイト	13.2	行政・企業サイト	15.5	一般サイト	11.0	一般映像サイト	3.7	行政・企業サイト	6.3	一般映像サイト	30.7
ソーシャルメディア	11.4	ソーシャルメディア	7.7	一般サイト	5.8	一般サイト	4.4	一般映像サイト	4.6	ラジオ	5.2	ラジオ	4.2	報道/映像サイト	2.8	ソーシャルメディア	5.2	ラジオ	17.4
一般サイト	9.0	一般映像サイト	6.0	報道/映像サイト	5.3	一般映像サイト	2.8	ラジオ	4.1	一般映像サイト	5.0	一般映像サイト	2.6	ソーシャルメディア	2.3	一般映像サイト	3.9	ソーシャルメディア	16.9
一般映像サイト	7.4	一般サイト	5.7	ソーシャルメディア	4.6	ソーシャルメディア	2.5	報道/映像サイト	3.8	ソーシャルメディア	4.9	ソーシャルメディア	2.6	ラジオ	1.8	ラジオ	3.6	報道/映像サイト	13.6
行政・企業サイト	7.4	行政・企業サイト	2.5	一般映像サイト	2.1	行政・企業サイト	2.4	ソーシャルメディア	3.6	報道/映像サイト	4.2	報道/映像サイト	2.2	行政・企業サイト	1.2	報道/映像サイト	3.4	行政・企業サイト	9.2
ネットラジオ	2.6	ネットラジオ	1.5	ネットラジオ	1.7	ネットラジオ	1.6	ネットラジオ	0.3	ネットラジオ	0.4	ネットラジオ	0.5	ネットラジオ	0.5	ネットラジオ	0.6	ネットラジオ	4.9

テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト ラジオ	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト 一般サイト	テレビ 新聞・雑誌	テレビ 新聞・雑誌	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト	テレビ 新聞・雑誌 報道/文字サイト 一般映像サイト
---------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------------------	--------------	--------------	--------------------------	-------------------------------------

利用率が20%以上の情報メディア

図表 2.3-7 入手メディア一覧

「最も利用する」情報メディアの回答率を整理したのが、図表 2.3-8 である。とりわけ、インターネットは、「ショッピング・商品情報」、「旅行・観光情報」、「娯楽・エンタメ情報」など生活関連情報において利用率が高い傾向が見られ、特に「ショッピング・商品情報」においては、全体の50%以上を占める。



図表 2.3-8 最も利用するメディア（情報種類別）

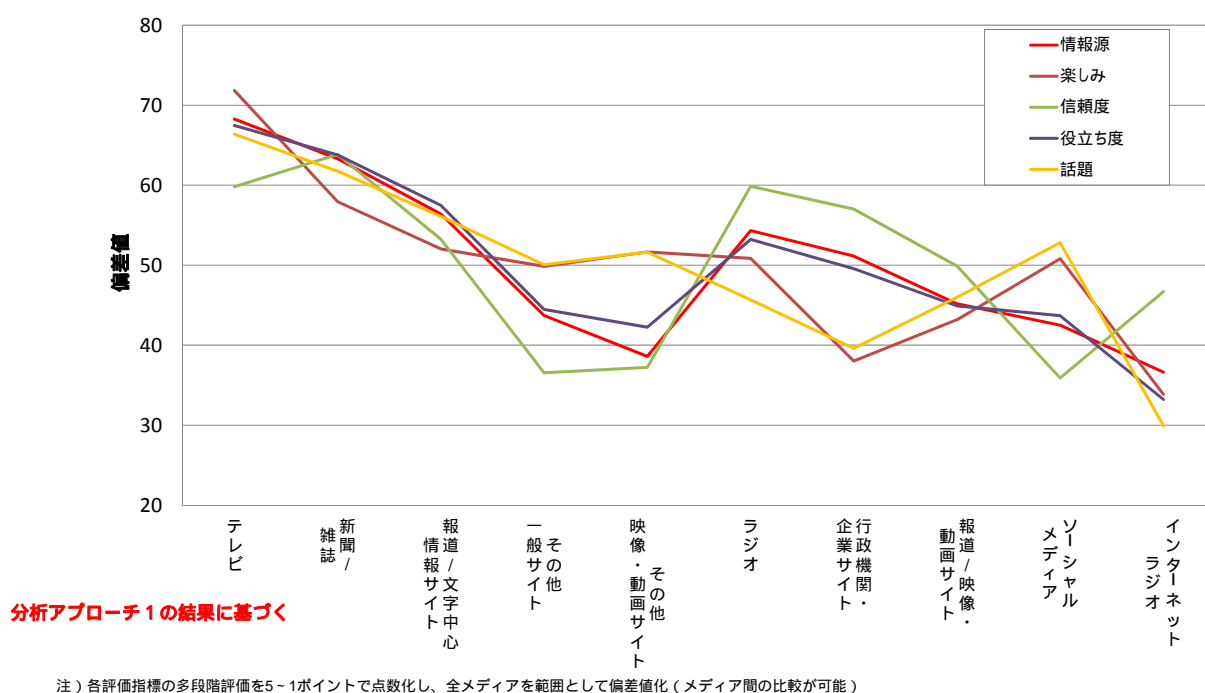
2.3.4. 各メディアの評価

本項では、2.3.1に示した分析枠組みに基づき、各情報メディアの社会的影響力について分析を行う。

(1) 各メディアの評価（複数回答に基づく分析）

分析アプローチ1の結果に基づき、評価指標ごとに偏差値化したものが図表2.3-9である。各メディアの評価の相対的な関係に着目すると、傾向としては「情報源としての重視度」と「役立ち度」は比較的類似する関係にある。「楽しみとしての重視度」と「話題」も比較的類似している。

また、「信頼度」については、情報発信の主体（報道機関か否か）によって、二極化する傾向にある。

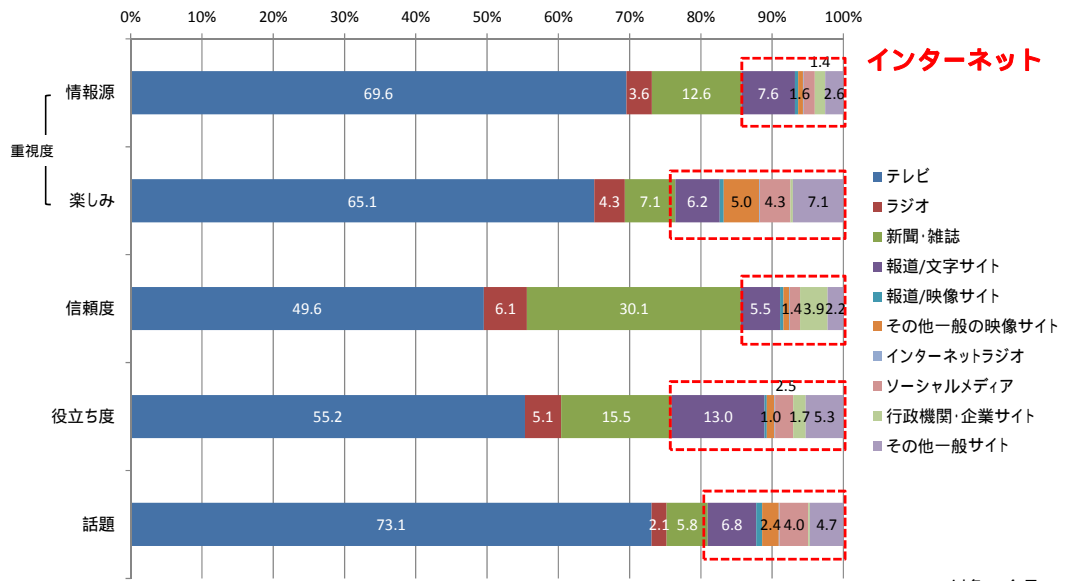


図表 2.3-9 評価指標別のメディア評価

(2) 各メディアの現在の評価（単一回答に基づく分析）

分析アプローチ2の結果に基づき、各評価指標で最も高いメディアとしての回答の比率を示したのが図表2.3-10である。いずれの評価指標においても、「テレビ」への評価が突出している。また、「信頼度」については、「新聞・雑誌」の評価がテレビに次いで非常に高い。

インターネットは、「楽しみとしての重視度」、「役立ち度」において、他の指標と比べ評価が高い。その内訳をみると、前者は「その他一般の映像サイト」、後者は「報道/文字サイト」が比較的高い結果となっている。



分析アプローチ2の結果に基づく

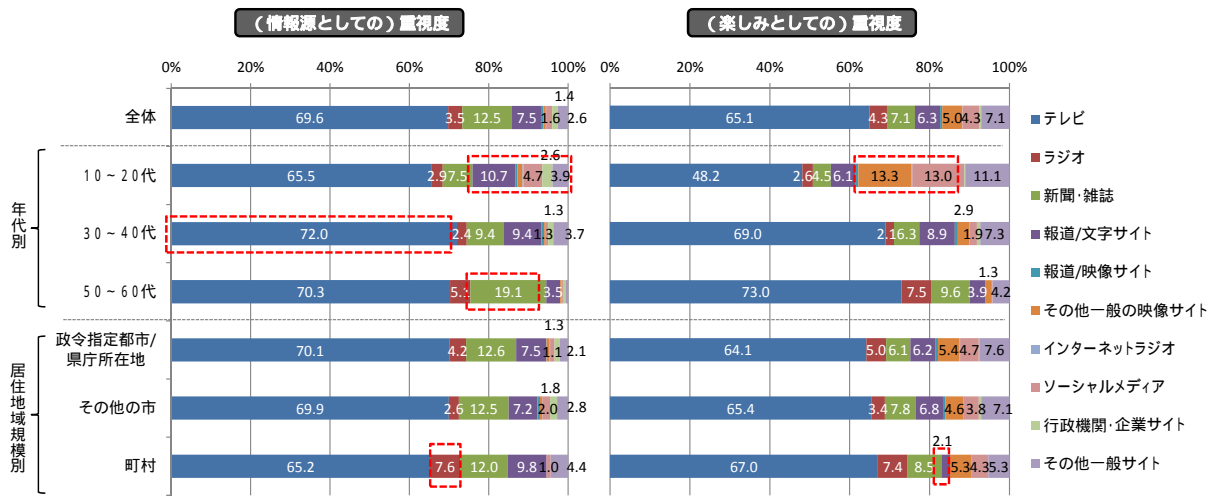
対象：全員（N=1625）
ただし、無回答は除く

図表 2.3-10 最も評価が高いメディア(評価指標別)

この結果を、回答者の年代別、居住地域規模別の軸でセグメント化した結果が図表 2.3-11 である。年代別の結果をみると、「情報源としての重視度」については、テレビの評価が全般的に高い中で、10～20代はインターネット、50代～60代は新聞・雑誌の評価が高い。また、「楽しみとしての重視度」については、10～20代のインターネット、特に「その他一般の映像サイト」と「ソーシャルメディア」の評価が他年代と比較して非常に高い。このように、10～20代については、インターネット系メディアへの評価の高い傾向が見られる。

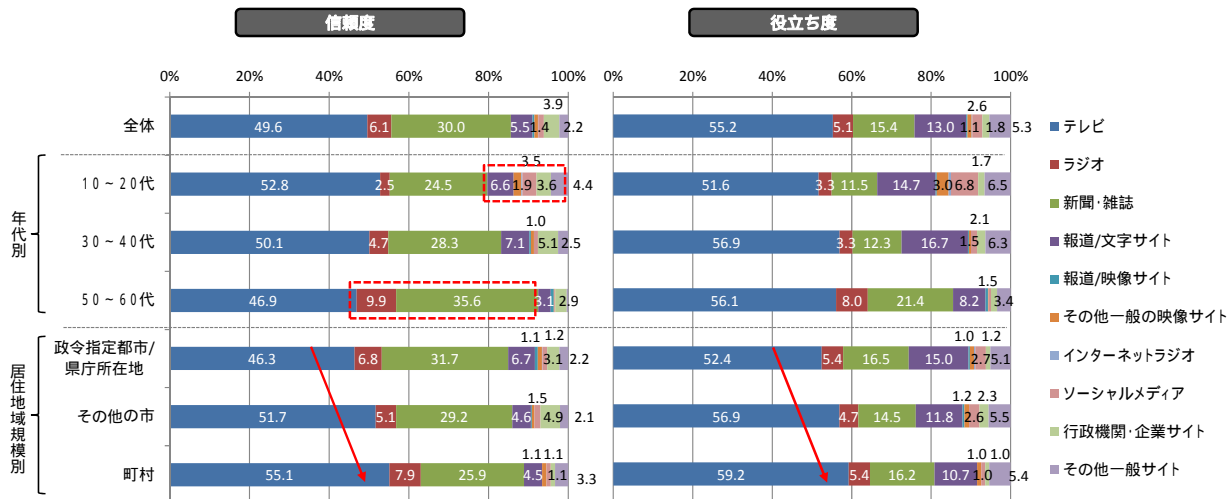
他方、居住地域規模別の結果をみると、「情報源としての重視度」については、町村居住者のラジオへの評価がやや高い傾向にあり、「楽しみとしての重視度」については、町村居住者の報道/文字サイトへの評価がやや低い点が挙げられるものの、年代別ほどの違いは生じていない。本調査結果からは、地域規模の違いとメディアの評価は、特筆すべき強い関係性は見られないと言える。

「信頼度」は、重視度と比べて年代の差は大きくないが、若年層ほどインターネットへの信頼度が高まる傾向にあり、50～60代はラジオ、新聞・雑誌の信頼度が高い傾向にある。また、「役立ち度」も、「信頼度」と同様に若年層ほどインターネットへの評価が高い。居住地域規模別では、「信頼度」、「役立ち度」いずれも、都市から町村へ、テレビの評価がより高まる傾向にある。「話題性」については、各年代とも、「楽しみとしての重視度」と傾向が類似している。居住地域規模別では、インターネット全体としての評価は、居住地域の違いには依存していないことが見て取れる。



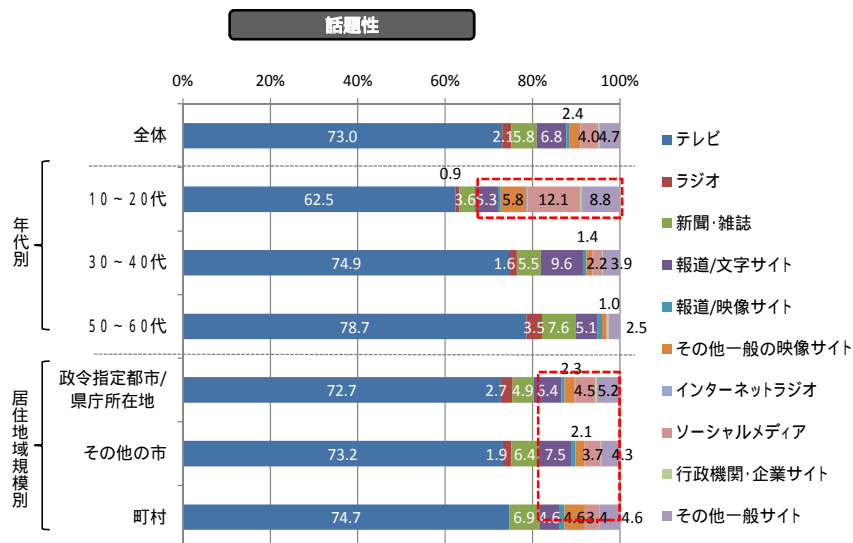
分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く



分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く



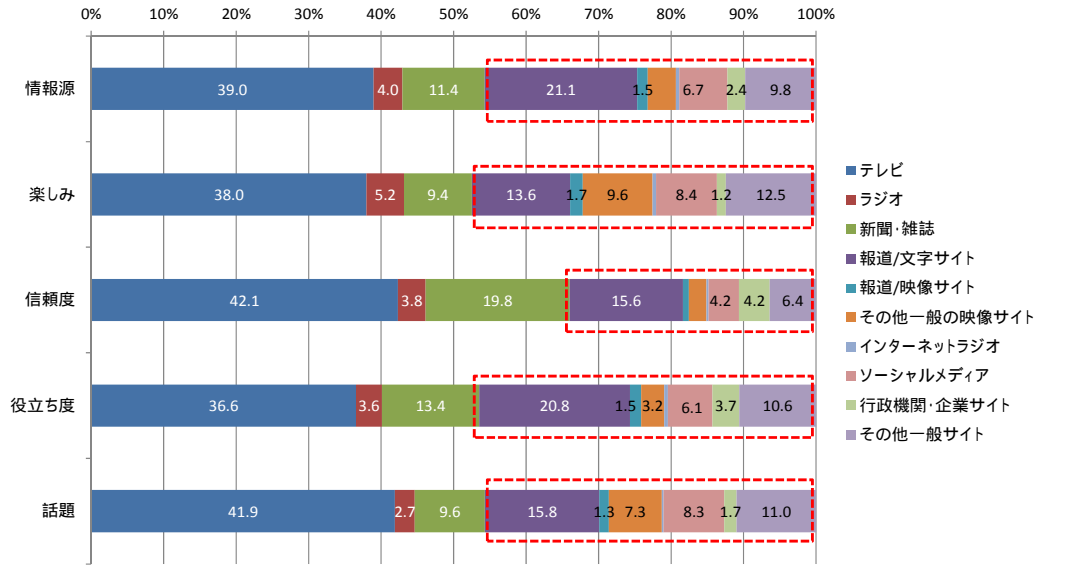
分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く

図表 2.3-11 最も評価が高いメディア(評価指標別・セグメント別)

(1) 経年で最も評価が上がったメディア（単一回答に基づく分析）

各メディアの評価の過去3年間の変化について、分析アプローチ2の結果に基づき、評価指標ごとに最も評価が上がったメディアとしての回答率を示したのが図表2.3-12である。各評価指標とも、インターネット関係以外のメディア（テレビ、ラジオ、新聞・雑誌）が半数を占めている。インターネットで最も変化が上がった評価指標は「役立ち度」であり、内訳としては、いずれの評価指標においても、「報道/文字サイト」の比率が最も高い。

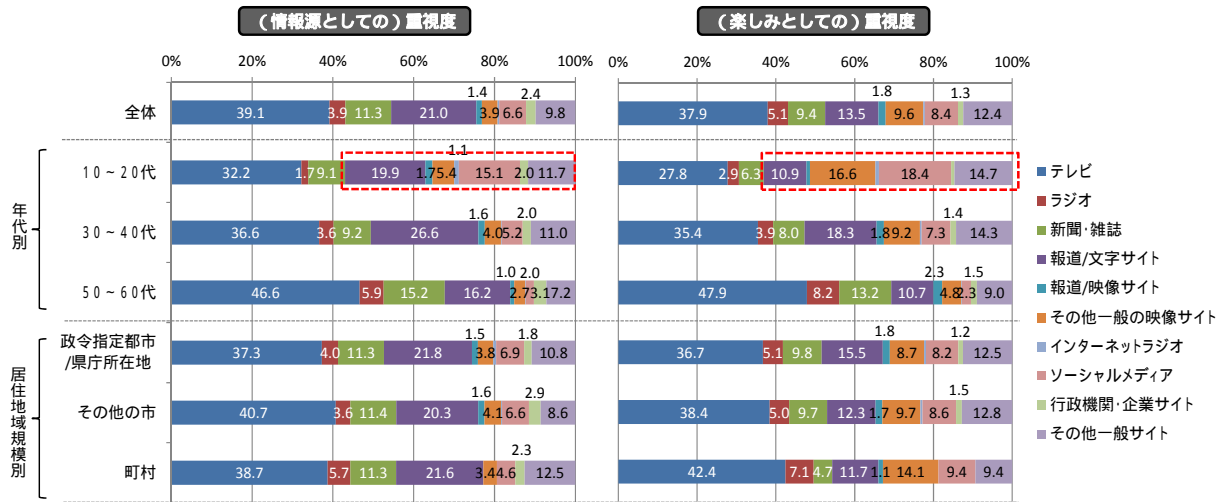


分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く

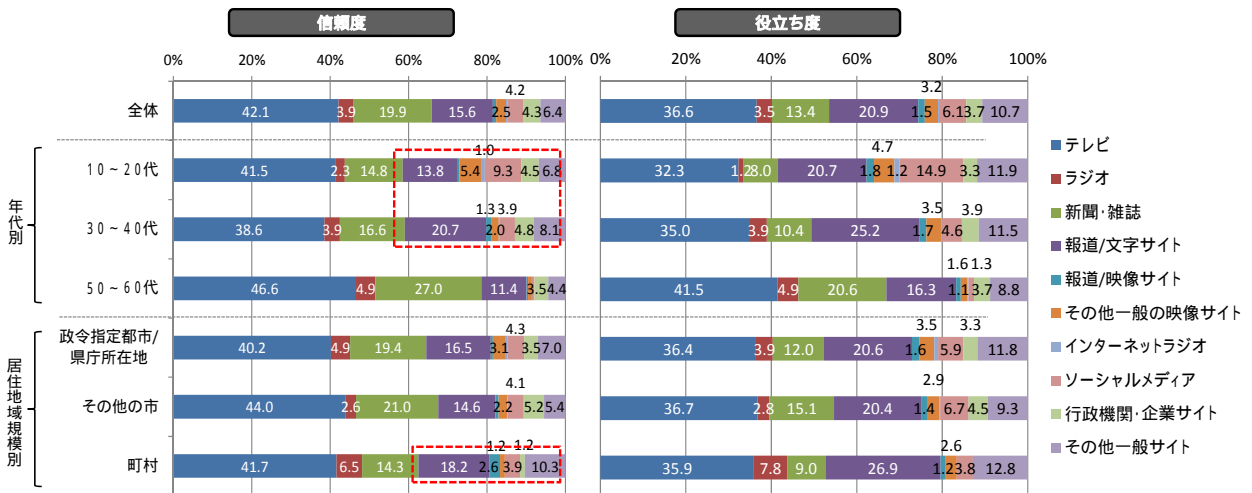
図表 2.3-12 経年で最も評価が上がったメディア（評価指標別）

この結果を、回答者の年代別、居住地域規模別の軸でセグメント化した結果が図表2.3-13である。「重視度（情報源、楽しみ）」については、10～20代の半数以上がインターネット関係を最も評価が上がったメディアと回答している。とりわけ、ソーシャルメディアの占める割合が高い。他方、居住地域規模別については、地域規模による差は限定的であり、インターネットの位置付けの変化は居住地域規模には依存していないものと考えられる。「信頼度」については、10～40代の約40%が、インターネット関係を最も評価が上がったメディアとする一方で、50～60代は約20%にとどまっている。居住地域規模別では、町村居住者のインターネットの位置付けがやや高い傾向にある。なお、「役立ち度」の変化におけるインターネットの位置付けは、「楽しみとしての重視度」と近い傾向にある。「話題性」についても、10～20代の半数以上（61%）がインターネット関係を最も評価が上がったメディアと回答している。とりわけソーシャルメディアの占める割合が高い。なお、居住地域規模別については、大きな特徴の違いはみられない。



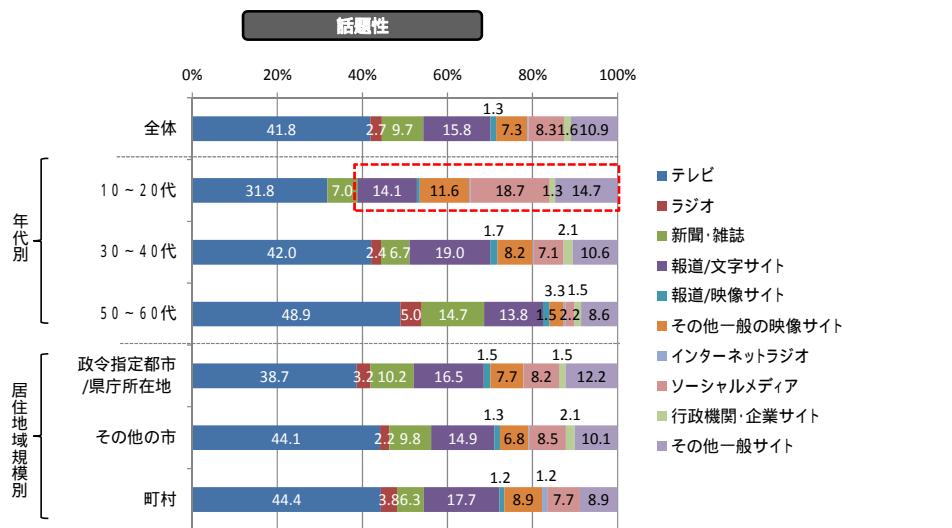
分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く



分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く



分析アプローチ2の結果に基づく

対象：全員
ただし、無回答は除く

図表 2.3-13 経年で最も評価が上がったメディア（評価指標別・セグメント別）

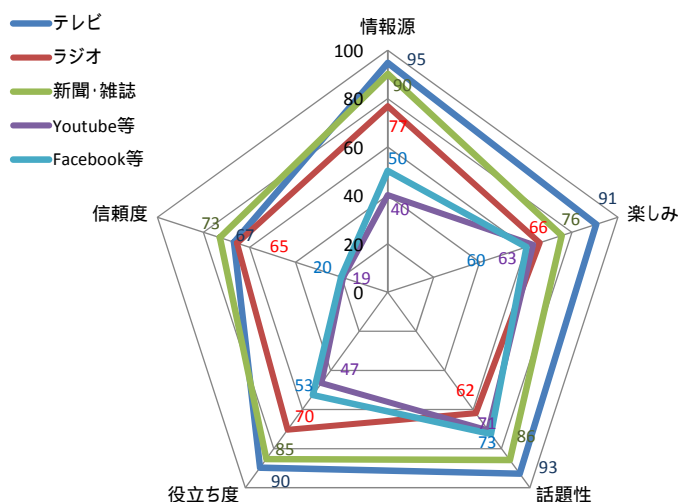
2.3.5. 各メディアの重要度等に関する比較（複数回答に基づく分析）

（1）主要媒体の情報発信源による違い

本項では、分析アプローチ1の結果に基づき、各メディアの利用者のうち各評価指標に対してプラス評価している回答者の比率をレーダーチャートとして表現し、情報発信源による違い及び媒体形式・伝送手段による認識の違いを分析する²。

まず、情報発信源による違いをみるため、映像系メディアとして「テレビ」と「その他の一般映像サイト」、文書系メディアとして「新聞・雑誌」と「ソーシャルメディア」を取り上げ、比較したものが図表2.3-14である。「その他の一般映像サイト」は「動画配信・動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画等）」を、「ソーシャルメディア」は「ミクシィ、グリー、Facebook、Twitter等」を想定している（アンケート調査票にて回答者に対して例示した）。

結果をみると、映像系、文書系いずれも、「楽しみ（としての重視度）」、「話題性」については、各メディアの評価の差が縮小している傾向が見られる。また、テレビ・新聞・雑誌、その他一般映像サイト・ソーシャルメディアの評価は、それぞれ類似している傾向にある。



その他の一般、映像サイトについてYoutubeを例示、ソーシャルメディアについてFacebook、ツイッター等を例示しているため、本項ではそれぞれさしあたり「Youtube等」、「Facebook等」と記載する。

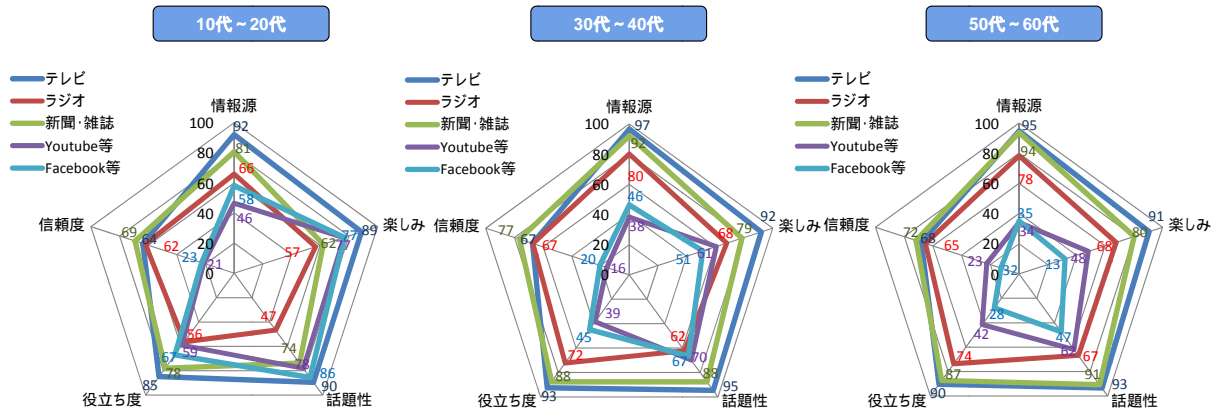
分析アプローチ1の結果に基づく

対象：全員

図表 2.3-14 各メディアの評価（プラス評価をしている比率、以下同様）

これをさらに年代別にみると、図表2.3-15のとおり、映像系、文書系いずれも、これまでの分析と同様、10～20代は全般的に評価の格差が縮小する傾向にある。特に、文書系メディアについては、10～20代は、「楽しみとしての重視度」、「話題性」の項目でソーシャルメディアが新聞・雑誌の評価を上回っている点が特徴的である。

² 具体的には各評価指標に対する多段階評価のうち、プラス評価（5段階評価の場合は、上位2段階、2段階評価の場合は上位の評価）の回答者比率の合計を集計した上で、メディア間の比較を行った。



分析アプローチ1の結果に基づく

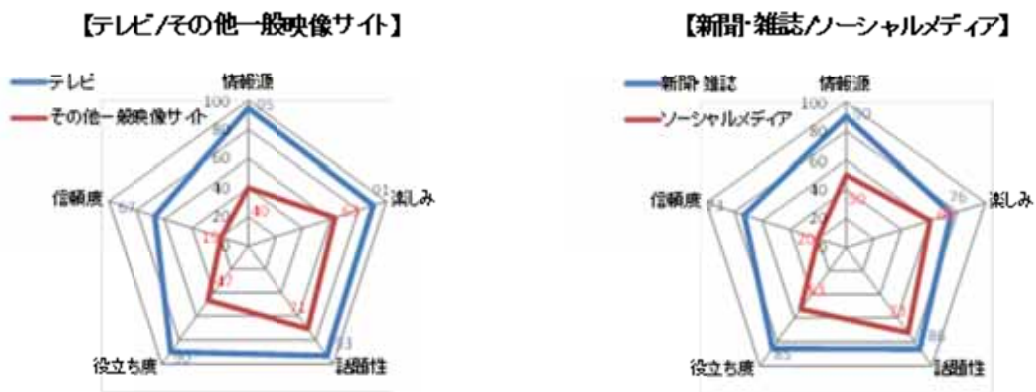
対象：全員

図表 2.3-15 各メディアの評価（年代別）

(2) 映像・文字系メディアの情報発信源による違い

図表 2.3-16 から、映像系メディアとして「テレビ」と「その他の一般映像サイト」、文書系メディアとして「新聞・雑誌」と「ソーシャルメディア」を抽出して比較すると、いずれも従来メディアの方が、明らかに評価が高いが、「楽しみ」「話題性」の評価については差が小さい傾向が見られる。また、テレビ・新聞・雑誌、その他一般映像サイト・ソーシャルメディアの体系は、それぞれ類似している傾向にある。

アンケートにおける例示：
 「その他の一般映像サイト」→動画配信・動画共有サービス (YouTube・ニコニコ動画等)
 「ソーシャルメディア」→mixi、グリー、Facebook、ツイッター等

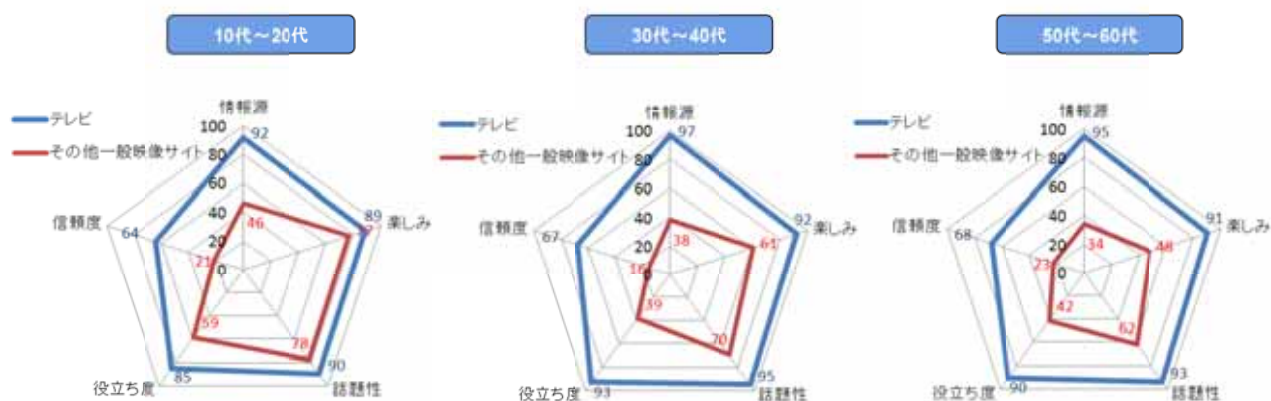


利用率= テレビ:99.4% / その他一般映像サイト:50.5%、新聞・雑誌:81.4% / ソーシャルメディア:26.8%

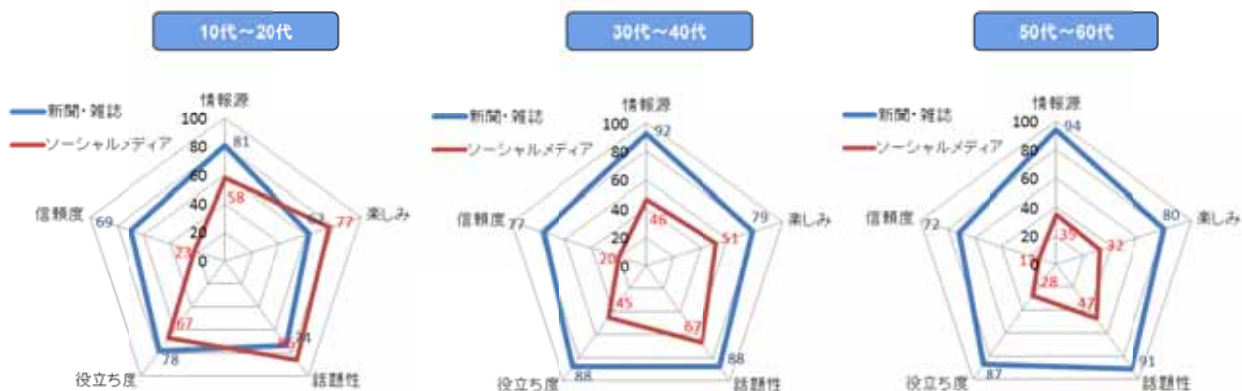
図表 2.3-16 各メディアの評価（情報発信源別）

映像系メディアについて、年代別でみると、図表 2.3-17 のとおり、10~20代は全般的に評価の格差が縮小する傾向にある。特に、楽しみ・話題性は評価が近似しており、他年代もこれに近く傾向がある。文字系メディアについて、10~20代は、「楽しみ」と及び「話題性」の項目でソーシャルメディアが新聞/雑誌の評価を上回っており、前頁の映像系メディアよりも傾向が顕著である。一方で、前頁の映像系メディアの結果と比べると、年代の違いで、評価の差が顕著である。

【テレビ/その他一般映像サイト】



【新聞・雑誌/ソーシャルメディア】

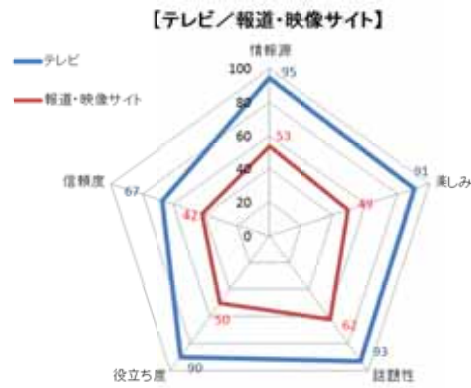


利用率(10代~20代)= テレビ:95.4% / その他一般映像サイト:69.7%、新聞・雑誌:66.9% / ソーシャルメディア:51.4%
 利用率(30代~40代)= テレビ:97.8% / その他一般映像サイト:54.1%、新聞・雑誌:79.2% / ソーシャルメディア:25.3%
 利用率(50代~60代)= テレビ:98.4% / その他一般映像サイト:33.3%、新聞・雑誌:93.8% / ソーシャルメディア:10.7%

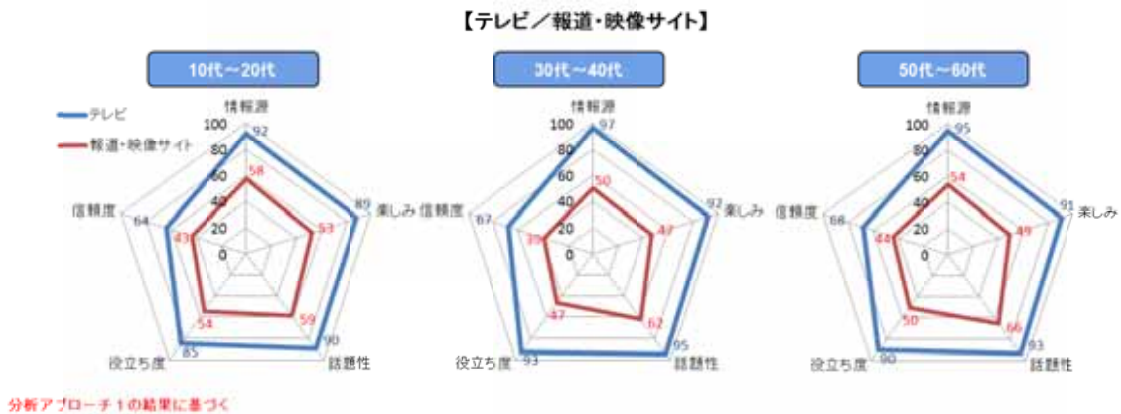
図表 2.3-17 各メディアの評価（情報発信源/年代別）

（3）媒体形式及び伝送手段による違い：映像媒体

次に、報道関係を情報発信源とするメディアに関し、媒体形式（映像系ないし文書系）及び伝送手段（従来型ないしインターネット）について、映像媒体として、「テレビ」と「報道/映像サイト」を比較し、年代別比較も含めレーダーチャート化したのが図表 2.3-18である。映像メディアは、テレビの評価が報道/映像サイトの評価を大きく上回っており、年代別比較でも、10~20代における差が若干縮小しているものの、大きな傾向の違いはない。



利用率= テレビ:97.4% / その他一般映像サイト:40.7%



利用率(10代～20代)= テレビ:95.4% / その他一般映像サイト:42.1%

利用率(30代～40代)= テレビ:97.8% / その他一般映像サイト:45.3%

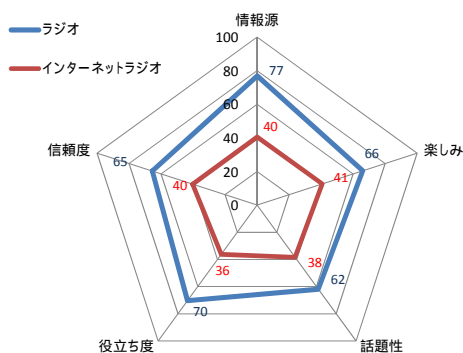
利用率(50代～60代)= テレビ:98.4% / その他一般映像サイト:35.4%

図表 2.3-18 各メディアの評価（映像媒体の伝送手段別）

（４）媒体形式及び伝送手段による違い：音声媒体

前項と同様に、音声媒体についてみると、図表 2.3-19のとおり、ラジオにおいては、インターネット経由の利用率が依然低いことからなど、前述のテレビ以上に伝送手段の違いが評価差に表れている。年代別でみると、10代～20代については、従来型ラジオの評価が全体的に低い。一方、インターネットラジオについては、利用率が高くないからか、評価に年代別の差は見られない。

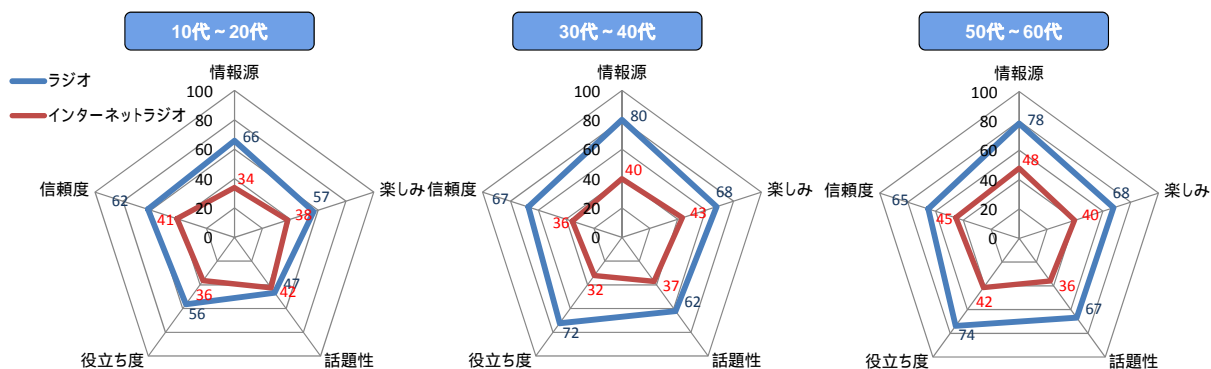
【ラジオ/インターネットラジオ】



分析アプローチ1の結果に基づく

利用率= ラジオ:44.0% / インターネットラジオ:10.0%

【ラジオ/インターネットラジオ】



分析アプローチ1の結果に基づく

利用率(10代～20代)= ラジオ:26.2% / インターネットラジオ:11.5%

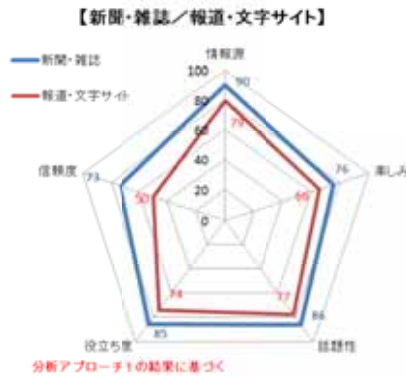
利用率(30代～40代)= ラジオ:44.2% / インターネットラジオ:11.1%

利用率(50代～60代)= ラジオ:58.4% / インターネットラジオ:8.0%

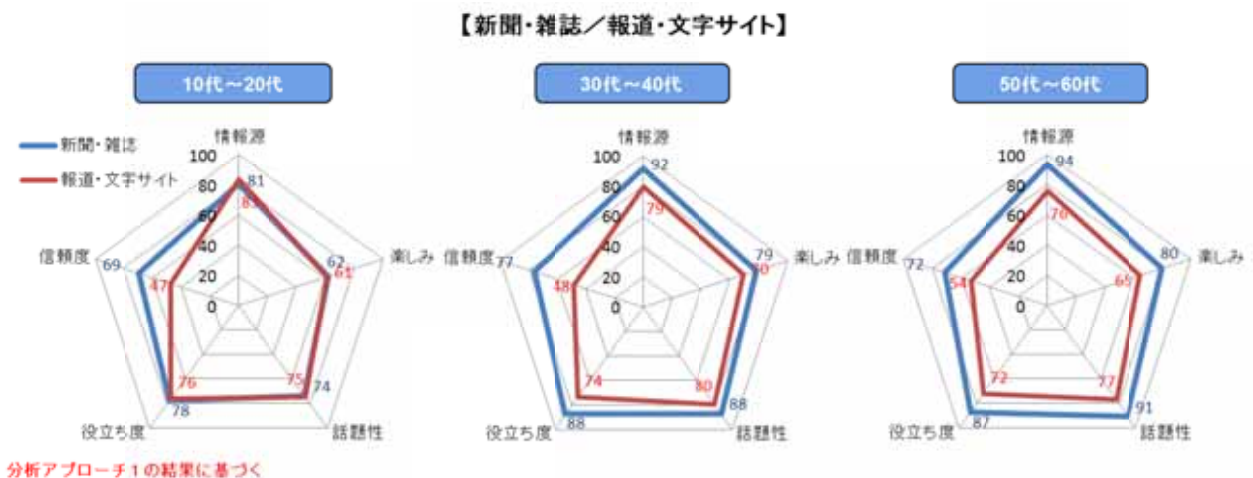
図表 2.3-19 各メディアの評価（音声媒体の伝送手段別）

（5）媒体形式及び伝送手段による違い：文字媒体

文字媒体においては、図表 2.3-20 のとおり、前述の映像系や音声系と異なり、伝送手段の評価の差は極めて小さい。年代別で見ると、10代～20代においては、「信頼度」以外は従来型とインターネットで評価の水準がほぼ一致している。他の年代でも両者の評価は近似しており、差は限定的である。



利用率= 新聞・雑誌:81.4% / 報道・文字サイト:65.2%



利用率(10代~20代)= 新聞・雑誌:66.9% / 報道・文字サイト:69.9%

利用率(30代~40代)= 新聞・雑誌:79.2% / 報道・文字サイト:75.2%

利用率(50代~60代)= 新聞・雑誌:93.8% / 報道・文字サイト:52.3%

図表 2.3-20 各メディアの評価（文字媒体の伝送手段別）

2.3.6. 各評価指標の評価と変化の関係

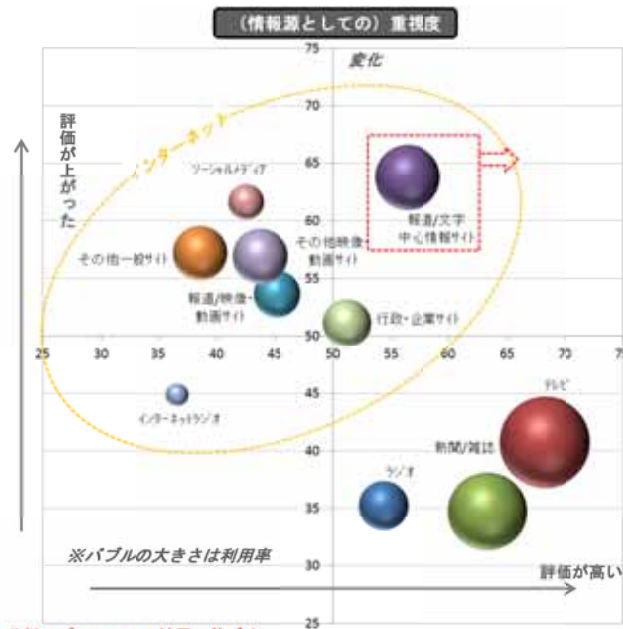
各メディアの利用率、各評価指標の現在評価と過去3年間の変化について総合的にグラフ化したのが図表 2.3-21である。本グラフは、各評価指標に係る現在評価（5段階評価）及び過去3年間の変化（「上がった」及び「下がった」の回答率の差）を偏差値へ換算し、それぞれ横軸・縦軸にプロットしたものである。従って、各メディアの位置付けを相対的に比較することができる。

まず、「情報源としての重視度」については、報道/文字サイトの評価の水準が四大メディア（テレビ、ラジオ、新聞・雑誌）に近く、また評価が最も上がっている。「楽しみとしての重視度」については、とりわけテレビの評価が高いが、「ソーシャルメディア」「その他一般映像サイト」の変化が最も高く、今後も推移が注目される。

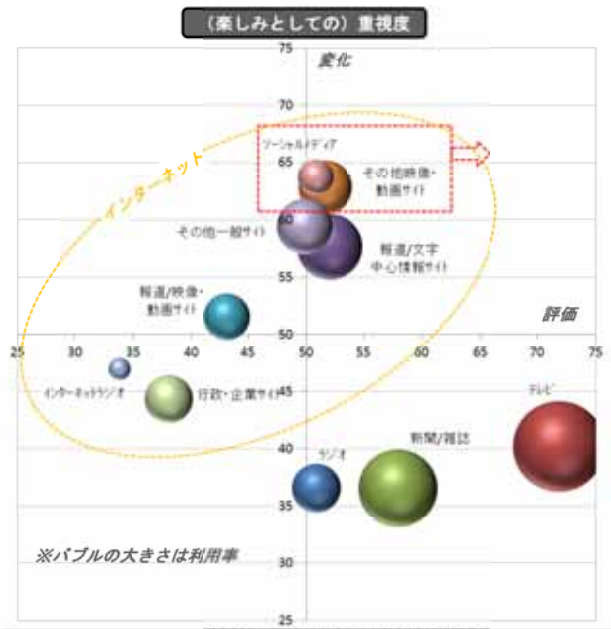
「信頼度」については、各メディアの位置付けがやや分散しているが、新聞・雑誌と報道/文字サイトの関係を踏まえれば、報道機関をはじめ情報発信主体が同種のメディアは、伝送手段を問わ

ず、評価が同水準に近づくと考えられる。また、「役立ち度」は、報道/文字サイトが現在評価及び過去3年間の変化とも高く、今後の推移が注目される。

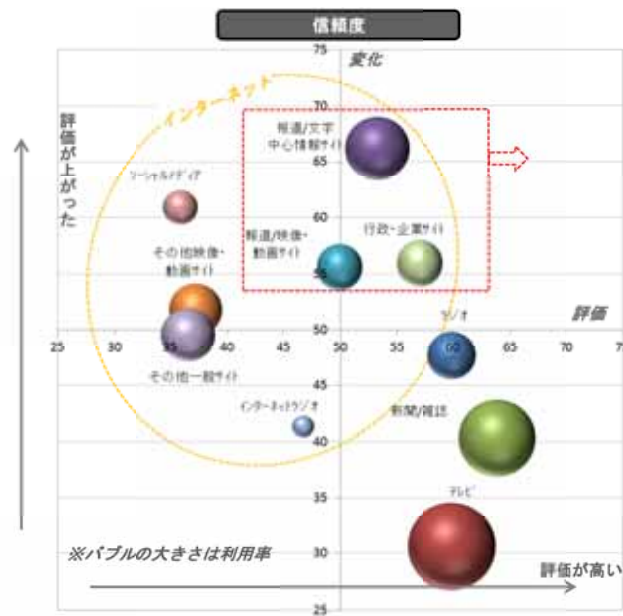
「話題性」については、「ソーシャルメディア」「その他一般映像サイト」がテレビ、新聞・雑誌と現在評価でも水準が近く、変化率も高いため、今後両者の評価が近づくものと推察される。



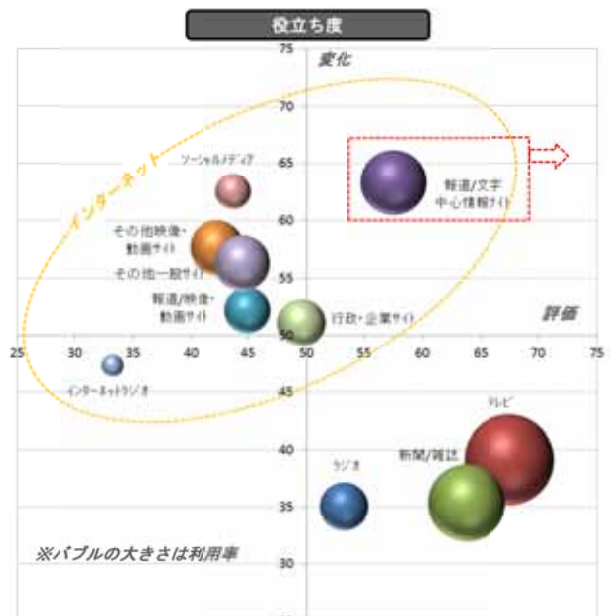
分析アプローチ1の結果に基づく



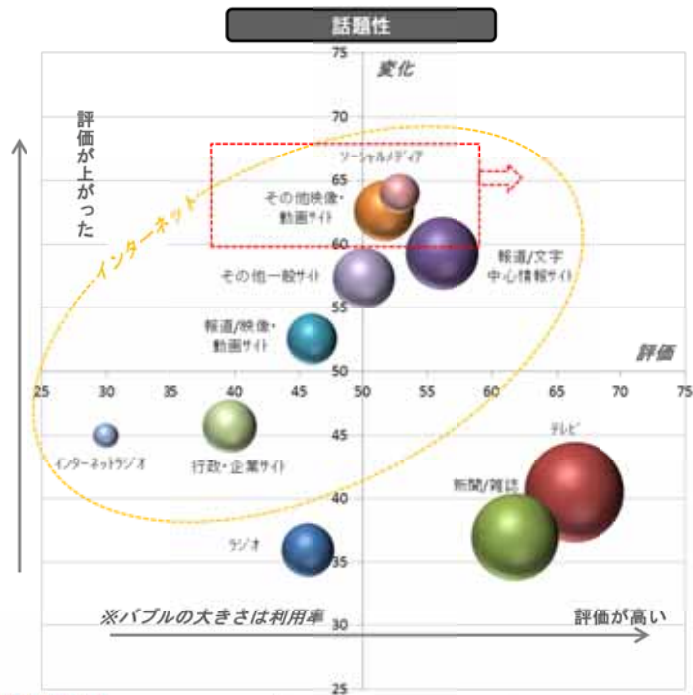
各評価指標に係る現在評価（5段階評価）及び過去3年間の変化（「上がった」及び「下がった」の回答率の差）を偏差値へ換算し、それぞれ横軸・縦軸にプロットしたものである。従って、各メディアの位置付けを相対的に比較することができる



分析アプローチ1の結果に基づく



各評価指標に係る現在評価（5段階評価）及び過去3年間の変化（「上がった」及び「下がった」の回答率の差）を偏差値へ換算し、それぞれ横軸・縦軸にプロットしたものである。従って、各メディアの位置付けを相対的に比較することができる



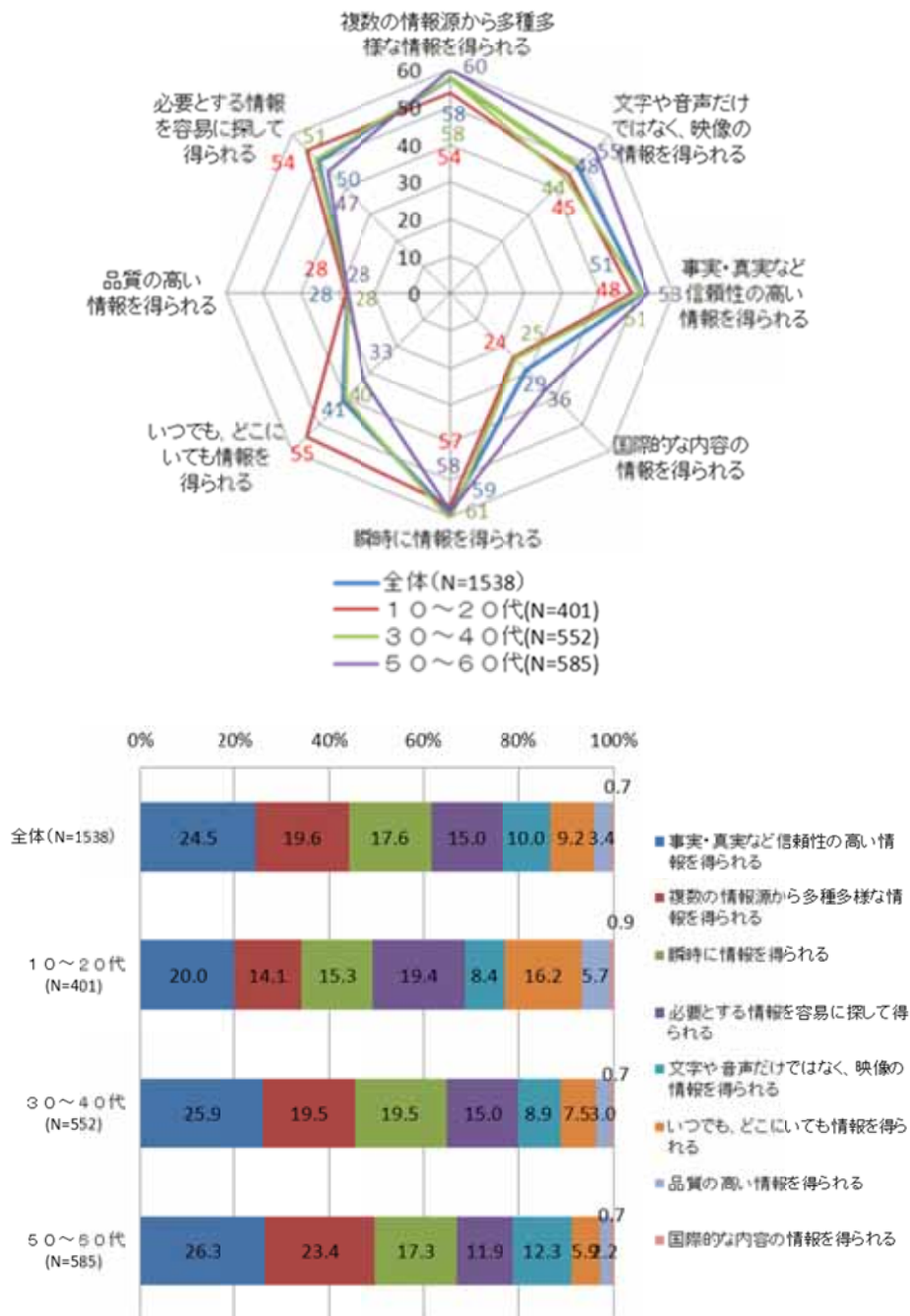
分析アプローチ1の結果に基づく

各評価指標に係る現在評価（5段階評価）及び過去3年間の変化（「上がった」及び「下がった」の回答率の差）を偏差値へ換算し、それぞれ横軸・縦軸にプロットしたものである。従って、各メディアの位置付けを相対的に比較することができる

図表 2.3-2 1 各メディアの評価指標総合比較（各評価指標と変化の関係）

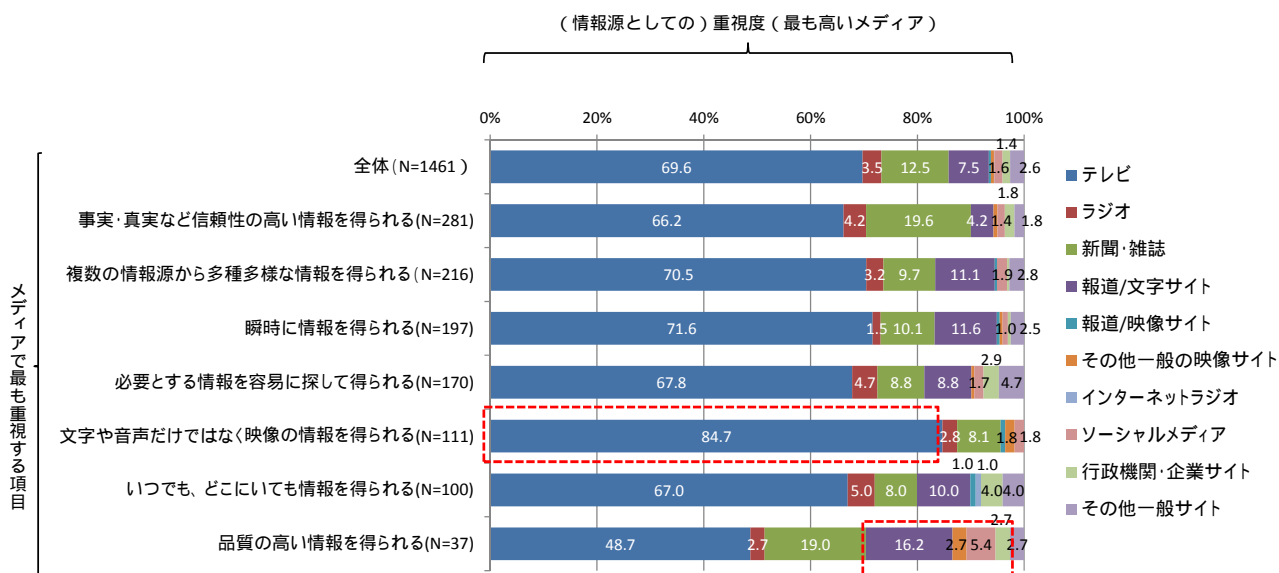
2.3.7. メディアの重視点

メディアに対する国民の重視点については、図表 2.3-22 のとおり、複数回答結果でみると、全体的に「情報・情報源の多様性」、「瞬時性」を重視する傾向が高い。若年層は「検索性」「ユビキタス性」を重視、50～60代は「多様性」「映像」「国際」が高い。”最も重視する”項目でみると、全体では、「事実性」が高く、次いで「多様性」となっている。



図表 2.3-22 情報メディアで重視する項目 (上：複数回答、下：単一回答)

図表 2.3-2 3は、メディアの重視項目と（情報源としての）重視度の関係を表している（いずれも最も高いもの）。「映像」重視派は、映像がメインであるテレビを高く、インターネットメディアを低く評価する傾向が見られる。一方、「品質」重視派は、インターネットメディアを含め多様なメディアを評価しており、自身の品質ニーズにあったメディアを見極めていく傾向が窺える。



図表 2.3-2 3 情報メディアで最も重視する項目別の（情報源としての）重視度が最も高いメディア

2.3.8. (参考) 図表の数値

	テレビ	ラジオ	新聞・雑誌	報道/文字サイト	報道/映像サイト	その他一般映像サイト	インターネットラジオ	ソーシャルメディア	行政機関・企業のサイト	その他一般サイト
図表 2.3 8 最も利用するメディア(情報種類別)										
国内ニュース	75.0	2.4	9.1	10.0	0.5	0.7	0.0	1.5	0.0	1.0
海外ニュース	68.1	2.0	10.6	14.3	1.1	0.9	0.1	1.5	0.1	1.5
地域ニュース	61.6	3.1	23.4	7.5	0.4	0.2	0.1	1.5	1.0	1.1
天気予報	74.6	2.1	4.6	13.6	1.2	0.9	0.1	0.5	1.1	1.2
観光情報	27.8	0.5	26.6	21.6	1.5	1.9	0.0	1.3	7.2	11.7
ショッピング、商品情報	24.9	0.9	21.8	23.5	1.8	1.6	0.1	2.0	9.3	14.2
健康、医療関連情報	43.2	1.0	19.1	16.3	0.8	1.0	0.3	1.4	7.5	9.5
テレビ番組情報	55.5	0.5	35.1	4.2	0.5	0.6	0.2	0.7	0.5	2.0
グルメ情報	43.2	0.3	17.1	17.6	1.3	1.3	0.3	2.0	3.3	13.6
娯楽・エンタメ情報	48.1	2.0	9.9	15.8	1.4	5.9	0.1	4.0	2.2	10.6
図表 2.3 9 評価指標別のメディア評価										
情報源	68.0	54.0	63.0	56.0	45.0	39.0	37.0	42.0	51.0	44.0
楽しみ	72.0	51.0	58.0	52.0	43.0	52.0	34.0	51.0	38.0	50.0
信頼度	60.0	60.0	64.0	53.0	50.0	37.0	47.0	36.0	57.0	37.0
役立ち度	67.0	53.0	64.0	57.0	45.0	42.0	33.0	44.0	50.0	44.0
話題	66.0	46.0	62.0	56.0	46.0	52.0	30.0	53.0	40.0	50.0
利用度	97.8	52.6	84.2	70.6	49.8	58.1	23.9	38.0	51.5	59.3
図表 2.3 10 最も評価が高いメディア(評価指標別)										
情報源	69.6	3.6	12.6	7.6	0.4	0.7	0.1	1.6	1.4	2.6
楽しみ	65.1	4.3	7.1	6.2	0.6	5.0	0.1	4.3	0.3	7.1
信頼度	49.6	6.1	30.1	5.5	0.5	0.8	0.1	1.4	3.9	2.2
役立ち度	55.2	5.1	15.5	13.0	0.3	1.0	0.1	2.5	1.7	5.3
話題	73.1	2.1	5.8	6.8	0.8	2.4	0.1	4.0	0.2	4.7
図表 2.3 11 最も評価が高いメディア(評価指標別・セグメント別)										
(情報源としての)重視度										
全体	69.6	3.5	12.5	7.5	0.4	0.6	0.1	1.6	1.4	2.6
10～20代	65.5	2.9	7.5	10.7	0.5	1.3	0.3	4.7	2.6	3.9
30～40代	72.0	2.4	9.4	9.4	0.7	0.4	0.0	0.6	1.3	3.7
50～60代	70.3	5.1	19.1	3.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.7	0.6
政令指定都市/県庁所在地	70.1	4.2	12.6	7.5	0.1	0.8	0.1	1.1	1.3	2.1
その他の市	69.9	2.6	12.5	7.2	0.7	0.6	0.0	2.0	1.8	2.8
町村	65.2	7.6	12.0	9.8	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	4.4
(楽しみとしての)重視度										
全体	65.1	4.3	7.1	6.3	0.6	5.0	0.1	4.3	0.4	7.1
10～20代	48.2	2.6	4.5	6.1	0.8	13.3	0.3	13.0	0.3	11.1
30～40代	69.0	2.1	6.3	8.9	0.8	2.9	0.0	1.9	0.8	7.3
50～60代	73.0	7.5	9.6	3.9	0.2	1.3	0.0	0.4	0.0	4.2
政令指定都市/県庁所在地	64.1	5.0	6.1	6.2	0.7	5.4	0.1	4.7	0.1	7.6
その他の市	65.4	3.4	7.8	6.8	0.6	4.6	0.0	3.8	0.6	7.1
町村	67.0	7.4	8.5	2.1	0.0	5.3	0.0	4.3	0.0	5.3
信頼度										
全体	49.6	6.1	30.0	5.5	0.5	0.9	0.1	1.4	3.9	2.2
10～20代	52.8	2.5	24.5	6.6	0.0	1.9	0.3	3.5	3.6	4.4
30～40代	50.1	4.7	28.3	7.1	0.4	0.8	0.0	1.0	5.1	2.5
50～60代	46.9	9.9	35.6	3.1	0.8	0.2	0.0	0.2	2.9	0.4
政令指定都市/県庁所在地	46.3	6.8	31.7	6.7	0.7	1.1	0.1	1.2	3.1	2.2
その他の市	51.7	5.1	29.2	4.6	0.2	0.7	0.0	1.5	4.9	2.1
町村	55.1	7.9	25.9	4.5	0.0	1.1	0.0	1.1	1.1	3.3
役立ち度										
全体	55.2	5.1	15.4	13.0	0.3	1.1	0.1	2.6	1.8	5.3
10～20代	51.6	3.3	11.5	14.7	0.3	3.0	0.6	6.8	1.7	6.5
30～40代	56.9	3.3	12.3	16.7	0.2	0.6	0.0	1.5	2.1	6.3
50～60代	56.1	8.0	21.4	8.2	0.6	0.2	0.0	0.6	1.5	3.4
政令指定都市/県庁所在地	52.4	5.4	16.5	15.0	0.3	1.0	0.3	2.7	1.2	5.1
その他の市	56.9	4.7	14.5	11.8	0.5	1.2	0.0	2.6	2.3	5.5
町村	59.2	5.4	16.2	10.7	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	5.4
話題性										
全体	73.0	2.1	5.8	6.8	0.8	2.4	0.1	4.0	0.3	4.7
10～20代	62.5	0.9	3.6	5.3	0.6	5.8	0.3	12.1	0.3	8.8
30～40代	74.9	1.6	5.5	9.6	0.8	1.4	0.0	2.2	0.2	3.9
50～60代	78.7	3.5	7.6	5.1	1.0	1.0	0.0	0.2	0.4	2.5
政令指定都市/県庁所在地	72.7	2.7	4.9	6.4	0.7	2.3	0.1	4.5	0.5	5.2
その他の市	73.2	1.9	6.4	7.5	0.8	2.1	0.0	3.7	0.1	4.3
町村	74.7	0.0	6.9	4.6	1.1	4.6	0.0	3.4	0.0	4.6

図表 2.3 12 経年で最も評価が上がったメディア(評価指標別)										
情報源	39.0	4.0	11.4	21.1	1.5	3.9	0.5	6.7	2.4	9.8
楽しみ	38.0	5.2	9.4	13.6	1.7	9.6	0.5	8.4	1.2	12.5
信頼度	42.1	3.8	19.8	15.6	0.8	2.4	0.3	4.2	4.2	6.4
役立ち度	36.6	3.6	13.4	20.8	1.5	3.2	0.5	6.1	3.7	10.6
話題	41.9	2.7	9.6	15.8	1.3	7.3	0.3	8.3	1.7	11.0
図表 2.3 13 経年で最も評価が上がったメディア(評価指標別・セグメント別)										
情報源としての)重視度										
全体	39.1	3.9	11.3	21.0	1.4	3.9	0.4	6.6	2.4	9.8
10～20代	32.2	1.7	9.1	19.9	1.7	5.4	1.1	15.1	2.0	11.7
30～40代	36.6	3.6	9.2	26.6	1.6	4.0	0.2	5.2	2.0	11.0
50～60代	46.6	5.9	15.2	16.2	1.0	2.7	0.2	2.0	3.1	7.2
政令指定都市/県庁所在地	37.3	4.0	11.3	21.8	1.5	3.8	0.7	6.9	1.8	10.8
その他の市	40.7	3.6	11.4	20.3	1.6	4.1	0.2	6.6	2.9	8.6
町村	38.7	5.7	11.3	21.6	0.0	3.4	0.0	4.6	2.3	12.5
(楽しみとしての)重視度										
全体	37.9	5.1	9.4	13.5	1.8	9.6	0.4	8.4	1.3	12.4
10～20代	27.8	2.9	6.3	10.9	0.9	16.6	0.9	18.4	0.9	14.7
30～40代	35.4	3.9	8.0	18.3	1.8	9.2	0.4	7.3	1.4	14.3
50～60代	47.9	8.2	13.2	10.7	2.3	4.8	0.2	2.3	1.5	9.0
政令指定都市/県庁所在地	36.7	5.1	9.8	15.5	1.8	8.7	0.5	8.2	1.2	12.5
その他の市	38.4	5.0	9.7	12.3	1.7	9.7	0.5	8.6	1.5	12.8
町村	42.4	7.1	4.7	11.7	1.1	14.1	0.0	9.4	0.0	9.4
信頼度										
全体	42.1	3.9	19.9	15.6	0.9	2.5	0.3	4.2	4.3	6.4
10～20代	41.5	2.3	14.8	13.8	0.7	5.4	1.0	9.3	4.5	6.8
30～40代	38.6	3.9	16.6	20.7	1.3	2.0	0.2	3.9	4.8	8.1
50～60代	46.6	4.9	27.0	11.4	0.4	0.9	0.0	0.7	3.5	4.4
政令指定都市/県庁所在地	40.2	4.9	19.4	16.5	0.5	3.1	0.5	4.3	3.5	7.0
その他の市	44.0	2.6	21.0	14.6	0.8	2.2	0.1	4.1	5.2	5.4
町村	41.7	6.5	14.3	18.2	2.6	1.2	0.0	3.9	1.2	10.3
役立ち度										
全体	36.6	3.5	13.4	20.9	1.5	3.2	0.4	6.1	3.7	10.7
10～20代	32.3	1.2	8.0	20.7	1.8	4.7	1.2	14.9	3.3	11.9
30～40代	35.0	3.9	10.4	25.2	1.7	3.5	0.2	4.6	3.9	11.5
50～60代	41.5	4.9	20.6	16.3	1.1	1.6	0.2	1.3	3.7	8.8
政令指定都市/県庁所在地	36.4	3.9	12.0	20.6	1.6	3.5	0.9	5.9	3.3	11.8
その他の市	36.7	2.8	15.1	20.4	1.4	2.9	0.1	6.7	4.5	9.3
町村	35.9	7.8	9.0	26.9	1.2	2.6	0.0	3.8	0.0	12.8
話題性										
全体	41.8	2.7	9.7	15.8	1.3	7.3	0.3	8.3	1.6	10.9
10～20代	31.8	0.0	7.0	14.1	0.6	11.6	0.3	18.7	1.3	14.7
30～40代	42.0	2.4	6.7	19.0	1.7	8.2	0.2	7.1	2.1	10.6
50～60代	48.9	5.0	14.7	13.8	1.5	3.3	0.4	2.2	1.5	8.6
政令指定都市/県庁所在地	38.7	3.2	10.2	16.5	1.5	7.7	0.1	8.2	1.5	12.2
その他の市	44.1	2.2	9.8	14.9	1.3	6.8	0.3	8.5	2.1	10.1
町村	44.4	3.8	6.3	17.7	1.2	8.9	1.2	7.7	0.0	8.9

<参考資料>

郵送アンケート調査票

I. あなたのご自宅及びあなた自身の情報通信サービスの利用状況についてお伺いいたします。

問 1. あなたのご自宅で使っている放送サービスについてお答え下さい。それぞれ一つだけ○をつけてください。

※それぞれについてお答えください。	アンテナ受信 で視聴（注）	ケーブルテレビ で視聴	視聴していない	わからない
1. 地上デジタル放送（地デジ）	1	2	3	4
2. 無料のBS放送やNHK-BS	1	2	3	4
3. WOWOW	1	2	3	4
4. 有料多チャンネル放送（ケーブルテレビ、スカパー!等の衛星放送）	1	2	3	4

注)集合住宅等の共同アンテナを含みます

問 2. あなたは、普段インターネット（パソコンや携帯電話等からのメール送受信、ホームページの閲覧など）を利用していますか？ 一つだけに○をつけて下さい。

1. はい 2. いいえ → 次頁へ

問 3. 問 2で[1. はい]と回答した方に伺います。どのような機器でインターネットを利用していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自宅のパソコン	4. スマートフォン（iPhone、Android 端末等）
2. 自宅以外のパソコン	5. タブレット端末（iPad 等）
3. 携帯電話（PHS、携帯情報端末（PDA）を含む）	6. インターネットに接続できるテレビ
	7. インターネット対応型家庭用ゲーム機・その他の機器

問 4. インターネットの利用歴をお答えください。（いずれかの欄に数字を記入してください）

1年未満の場合	→	_____	か月
1年以上の場合	→	_____	年

問 5. 次のインターネットのサービスを、今どのくらい利用していますか。それぞれのサービスについて、どれか一つだけに○をつけて下さい。

※パソコン及び携帯電話・スマートフォンなどからの利用を含みます

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	月に1回以下	利用していない
1. 検索サイト（Google など）	→ 1	2	3	4	5
2. ポータルニュースサイト（Yahoo! など）	→ 1	2	3	4	5
3. ソーシャルメディア（注）	→ 1	2	3	4	5
4. 行政機関や企業のウェブサイト	→ 1	2	3	4	5
5. その他一般のウェブサイト（掲示板・ブログ含む）	→ 1	2	3	4	5
6. メール	→ 1	2	3	4	5
7. チャット・メッセージ	→ 1	2	3	4	5
8. 音声通話（スカイプなど）	→ 1	2	3	4	5
9. インターネットラジオ（らじる★らじる、radiko.jp（ラジコ）など）	→ 1	2	3	4	5
10. ネットショッピング・オークション（楽天、ヤフーオークションなど）	→ 1	2	3	4	5
11. オンラインゲーム（ラグナロクオンライン、モバゲーなど）	→ 1	2	3	4	5
12. 音楽のダウンロード・ストリーミング（各種音楽配信サイトなど）	→ 1	2	3	4	5
13. 動画のダウンロード・ストリーミング（youtube、ニコニコ動画など）	→ 1	2	3	4	5
14. 文書・写真の保存や管理（dropbox など）	→ 1	2	3	4	5

注) ミクシィ、グリー、Facebook、ツイッター 等

Ⅱ. あなたの生活における情報メディアの利用についてお伺いいたします。

本章では、あなたの生活における情報メディア(テレビ・ラジオ・新聞・インターネット等)の利用状況や、それぞれの情報メディアに対するあなたのお考えについてお伺いいたします。

問 6. 以下に挙げる各情報メディアの利用について、最近1週間におけるあなたの利用頻度をお答えください。それぞれの情報メディアについて、(i)1日あたりの平均時間(平日、土日・休日)、(ii)1週間の利用日数について数値を記入してください。

現在その機器を所有していない場合○をつけてください ↓	(i) 1日あたり平均利用時間		(ii)1週間の利用日数
	平日の場合	土日・休日の場合	
テレビを見る(ワンセグを含む) → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
ラジオを聴く → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
新聞を読む → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
雑誌を読む → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
パソコンでインターネットを使う → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
スマートフォン(iPhone,Android 端末等)でインターネットを使う → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
携帯電話(スマートフォンを除く)でインターネットを使う → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
タブレット端末(iPad 等)でインターネットを使う → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい
ゲーム機でインターネットを使う → ×	時間 分 くらい	時間 分 くらい	日 くらい

問 7. 各情報メディアの利用頻度や時間は、3年前と比較するとどの程度変わりましたか。それぞれの情報メディアについて、どれか一つだけに○をつけて下さい。

現在その機器を所有していない場合○をつけてください ↓	増えた	変わらない	減った
テレビを見る(ワンセグを含む) → ×	1	2	3
ラジオを聴く → ×	1	2	3
新聞を読む → ×	1	2	3
雑誌を読む → ×	1	2	3
パソコンでインターネットを使う → ×	1	2	3
スマートフォン(iPhone,Android 端末等)でインターネットを使う → ×	1	2	3
携帯電話(スマートフォンを除く)でインターネットを使う → ×	1	2	3
タブレット端末(iPad 等)でインターネットを使う → ×	1	2	3
ゲーム機でインターネットを使う → ×	1	2	3

問 8. あなたは、下表に挙げる情報の種類（国内ニュース、海外ニュース…）を、どのような情報源（テレビ、ラジオ…）から得ていますか。
 各情報の種類について、当てはまるものすべてに○をつけてください。
 また、それぞれの情報の種類について、最も良く利用している情報源について一つだけ選び、該当する番号（①～⑩）を下段に記入してください。

使っていない・知らない場合は×欄に○をつけてください↓

		使っていない・知らない	情報の種類										
			国内ニュース	海外ニュース	地域（ローカル）ニュース	天気予報	旅行、観光情報	商品情報 ショッピング、	健康、 医療関連情報	テレビ番組情報	グルメ情報	情報 娯楽・エンタメ	
		番号	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
テレビ	地上波放送、BS・CS放送・ケーブルテレビ等	①	×	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ラジオ	AM・FM、コミュニティFM、短波放送等	②	×	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
新聞・雑誌	紙媒体	③	×	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
インターネット	報道機関が提供する文字を中心とした情報サイト（注1）	④	×	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	報道機関が提供する映像・動画を中心とした情報サイト	⑤	×	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	その他一般の映像・動画サイト（注2）	⑥	×	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	ラジオ局が提供するインターネットラジオ（らじる、ラジオ等）	⑦	×	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	ソーシャルメディア（注3）	⑧	×	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	行政機関や企業のウェブサイト	⑨	×	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	その他一般サイト（掲示板・ブログ含む）	⑩	×	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
最もよく使うもの（該当番号①～⑩の一つを記入して下さい）→				()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

注1) ポータルニュースサイト(Yahoo!など)を含む

注2) 動画配信・動画共有サービス(youtube・ニコニコ動画等)など

注3) ミクシィ、グリー、Facebook、ツイッター等

問 9. 各情報メディアについて、以下の項目について、回答欄に回答ください。(i)～(iv)それぞれについて、一つずつ○をつけて下さい。
また、(i)～(iv)それぞれについて、最も高いと思う情報メディアを一つだけ選び、該当する番号(①～⑩)を下段に記入してください。

- (i) : あなたは、各情報メディアはどのくらい重要と思いますか。「a.情報を得るための情報源」として、「b.楽しみを得るための手段」として、それぞれお答え下さい。
(ii) : あなたは、各情報メディアの情報をどのくらい信頼していますか。
(iii) : あなたの生活(買い物などの消費や、趣味・娯楽、その他の日常の行動)で、各情報メディアはどのくらい役に立っていると思いますか。
(iv) : 各情報メディアを通じて知った情報について、友人・知り合いなど他人と話題にすることはありますか。

使っていない・知らない場合は×欄に○をつけてください↓

<回答欄>

		番号	使っていない・知らない	(i)重要度										(ii)信頼度					(iii)役立ち度					(iv)話題	
				a.情報源として					b.楽しみとして					信頼度					役立ち度					ある	ない
				非常に重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない	非常に重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない	全部信頼できる	大部分信頼できる	半々くらい	一部しか信頼できない	全く信頼できない	かなり役立っている	やや役立っている	どちらともいえない	あまり役立っていない	全く役立っていない		
テレビ	地上波放送、BS・CS放送・ケーブルテレビ等	①	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
ラジオ	AM・FM、コミュニティFM、短波放送等	②	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
新聞・雑誌	紙媒体	③	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
インターネット	報道機関が提供する文字を中心とした情報サイト(注1)	④	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
	報道機関が提供する映像・動画を中心とした情報サイト	⑤	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
	その他一般の映像・動画サイト(注2)	⑥	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
	ラジオ局が提供するインターネットラジオ	⑦	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
	ソーシャルメディア(注3)	⑧	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
	行政機関や企業のウェブサイト	⑨	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
	その他一般サイト(掲示板・ブログ含む)	⑩	×	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
最も高いもの(該当番号①～⑩を記入して下さい)→				()					()					()					()						

注1) ポータルニュースサイト(Yahoo!など)を含む
注2) 動画配信・動画共有サービス(youtube・ニコニコ動画等)など
注3) ミクシィ、グリー、Facebook、ツイッター等

問 10. 問 9でお答え頂いた、(i)～(iv)について、ここ3年間程度でどの程度変わりましたか？ (i)～(iv)それぞれについて、一つずつ○をつけて下さい。
 また、(i)～(iv)それぞれについて、最も上がったと思う情報メディアを一つだけ選び、該当する番号(①～⑩)を下段に記入してください。

使っていない・知らない場合は×欄に○をつけてください↓

	番号	使っていない・知らない	(i)重要度						(ii)信頼度			(iii)役立ち度			(iv)話題			
			a. 情報源として			b. 楽しみとして			上がった	下がった	変わらない	上がった	下がった	変わらない	上がった	下がった	変わらない	
			上がった	下がった	変わらない	上がった	下がった	変わらない										
テレビ	地上波放送、BS・CS放送・ケーブルテレビ等	①	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
ラジオ	AM・FM、コミュニティFM、短波放送等	②	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
新聞・雑誌	紙媒体	③	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
インターネット	報道機関が提供する文字を中心とした情報サイト(注1)	④	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	報道機関が提供する映像・動画を中心とした情報サイト	⑤	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	その他一般の映像・動画サイト(注2)	⑥	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	ラジオ局が提供するインターネットラジオ	⑦	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	ソーシャルメディア(注3)	⑧	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	行政機関や企業のウェブサイト	⑨	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	その他一般サイト(掲示板・ブログ含む)	⑩	×	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
最も上がったもの(該当番号①～⑩を記入して下さい)→				()			()			()			()					

注1) ポータルニュースサイト(Yahoo!など)を含む

注2) 動画配信・動画共有サービス(youtube・ニコニコ動画等)など

注3) ミクシィ、グリー、Facebook、ツイッター等

問 11. あなたにとって、各メディアからの情報の入手にあたってどのような点が重要ですか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい(9.の場合は一つだけ)。
 (選択肢9以外を選んだ方は)最も重要と思われるものを一つだけ選び、該当する番号(1～8)を下段に記入してください。

1. 複数の情報源から多種多様な情報を得られること	5. 瞬時に情報を得られること
2. 文字や音声だけではなく、映像の情報を得られること	6. いつでも、どこにいても情報を得られること
3. 事実・真実など信頼性の高い情報を得られること	7. 品質の高い情報を得られること
4. 国際的な内容の情報を得られること	8. 必要とする情報を容易に探して得られること
9. いずれでもない	
最も重要と思われるもの(該当番号1～8を記入して下さい)→ ()	

Ⅲ. 東日本大震災の発生当時におけるあなたの情報メディアの利用についてお伺いいたします。

本章では、2011年3月11日に発生した東日本大震災より前やそれ以降の期間において、震災情報等の情報源としての情報メディア(テレビ・ラジオ・新聞・インターネット等)の利用状況や、それぞれの情報メディアに対するあなたのお考えについてお伺いいたします。

問 12. 次のソーシャルメディアを使っていますか。使っているソーシャルメディアすべてについて、それぞれいつ頃から使っているか、1から3までどれか一つだけに○をつけて下さい。また、使っていない場合は、「4 使っていない」に○をして下さい。

	2011年3月11日 (東日本大震災) 前に利用開始	2011年3月11日 から3月31日 間に利用開始	2011年4月 以降に利用開始	使っていない
ツイッター	1	2	3	4
ミクシィ	1	2	3	4
Facebook	1	2	3	4

問 13. 東日本大震災発生より前は、地震や台風等の災害関連情報について、主にどのようなメディアから情報を得ていましたか。当てはまるものすべてについて○をつけて下さい。また、一番活用していたものを選び、該当する選択肢の番号を下段に記入して下さい。

1. テレビ	8. パソコンで利用するミクシィ又は Facebook
2. ラジオ	9. 携帯電話(スマートフォン含む)で利用するミクシィ又は Facebook
3. 新聞	10. パソコンで利用するツイッター
4. パソコンで見るニュースサイト	11. 携帯電話(スマートフォン含む)で利用するツイッター
5. 携帯電話(スマートフォン含む)で見るニュースサイト	12. 家族、友人、知人等からのメールや電話
6. パソコンで見るその他のサイト	13. その他
7. 携帯電話(スマートフォン含む)で見るその他のサイト	
一番活用していたものを1~13から一つだけお選び番号を記入して下さい→ ()	

問 14. 東日本大震災発生後、以下の各情報（地震速報、津波・台風による避難指示、…）は主にどのような情報源（テレビ、携帯電話、…）から収集しましたか。またその情報は役に立ちましたか。すべての情報源及び情報の種類について、下記選択肢の中から当てはまるものについて、回答欄の番号に一つずつ○をつけて下さい。

※インターネットは、パソコン及び携帯電話・スマートフォンなどからの利用を含みます <問 14の回答欄>

情報源	情報の種類	①地震速報					②津波、台風による避難指示					③帰宅時の交通運行状況					④原発事故、放射能					⑤食の安全 (放射能性物質の影響)				
		1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
1. テレビ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
2. 携帯電話(スマートフォン含む)のワンセグ放送	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
3. ラジオ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
4. 新聞	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
5. インターネットニュースサイト	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
6. インターネットのブログ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
7. 大学・研究機関や研究者のツイッター	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
8. その他のツイッター	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
9. ミクシィ、Facebook	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
10. 政府/自治体の震災関連の携帯メール	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
11. 政府/自治体のホームページ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X

(選択肢) 1: 非常に役に立った 2: ある程度役に立った 3: あまり役に立たなかった 4: 全く役に立たなかった ×: 情報源をつかわなかった、知らなかった

問 15. 東日本大震災発生後以下の各情報について、それぞれの情報源をどの程度信頼できるとお感じましたか。すべての情報源について、下記選択肢の中から当てはまるものについて、回答欄の番号に一つずつ○をつけて下さい。

※インターネットは、パソコン及び携帯電話・スマートフォンなどからの利用を含みます <問 15の回答欄>

情報源	情報の種類	①地震速報					②津波、台風による避難指示					③帰宅時の交通運行状況					④原発事故、放射能					⑤食の安全 (放射能性物質の影響)				
		1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
1. テレビ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
2. 携帯電話(スマートフォン含む)のワンセグ放送	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
3. ラジオ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
4. 新聞	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
5. インターネットニュースサイト	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
6. インターネットのブログ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
7. 大学・研究機関や研究者のツイッター	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
8. その他のツイッター	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
9. ミクシィ、Facebook	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
10. 政府/自治体の震災関連の携帯メール	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X
11. 政府/自治体のホームページ	→	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X	1	2	3	4	X

(選択肢) 1: 非常に信頼できた 2: ある程度信頼できた 3: あまり信頼できなかった 4: 全く信頼できなかった ×: 情報源をつかわなかった、知らなかった

①～⑤の各行(情報源)について一つずつ○をつけてください

問 16. 東日本大震災発生後、以下の各情報について、それぞれの情報源の信頼性は震災前に比べてどのように変化しましたか。(i)震災発生から1ヶ月間、(ii)現在、の両方についてお答え下さい。すべての情報源及び情報の種類について、下記選択肢の中の当てはまるものについて、回答欄の番号に一つずつ○をつけて下さい。

※インターネットは、パソコン及び携帯電話・スマートフォンなどからの利用を含みます <問 16の回答欄>

時期 情報の種類 情報源	(i) 震災前に比べて震災発生から1ヶ月間												(ii) 震災前に比べて現在																			
	①地震・津波の 被害状況				②原発事故・放射能				③食の安全 (放射性物質の影響)				①地震・津波の 被害状況				②原発事故・放射能				③食の安全 (放射性物質の影響)											
1. テレビ	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X				
2. ラジオ	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X
3. 新聞	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X
4. インターネットのブログ	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X
5. インターネットのソーシャルメディア (注)	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X	1	2	3	X

注) ミクシィ、Facebook、ツイッター

(選択肢) 1:信頼性が上がった 2:信頼性が下がった 3:変わらなかった ×: 情報源をつかわなかった、知らなかった

問 17. 問 16で「2. 信頼性が下がった」を選んだ項目について、その理由を教えてください。信頼性が下がった情報源について、下記選択肢の中から、当てはまるものすべてに回答欄の番号に○をつけて下さい(×欄のみ一つだけ)。また、[5. その他]の場合は、理由を()内に記入して下さい。

※インターネットは、パソコン及び携帯電話・スマートフォンなどからの利用を含みます <問 17の回答欄>

時期 情報の種類 情報源	(i) 震災前に比べて震災発生から1ヶ月間に信頼性が下がった人												(ii) 現在でも信頼性が下がっている人																											
	①地震・津波の 被害状況				②原発事故・放射能				③食の安全 (放射性物質の影響)				①地震・津波の 被害状況				②原発事故・放射能				③食の安全 (放射性物質の影響)																			
1. テレビ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×					
2. ラジオ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×					
3. 新聞	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×					
4. インターネットのブログ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×					
5. インターネットのソーシャルメディア (注)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×	()				×					

注) ミクシィ、Facebook、ツイッター

(選択肢) 1:情報の正確さに問題があったから 2:情報内容が不十分だと思ったから 3:情報提供のタイミングが遅かったから 4:情報が古く、現状にそぐわないと思ったから 5:その他 ×: 情報源をつかわなかった、知らなかった

①～③の各行(情報源)について一つずつ○をつけて下さい

IV. 公共分野における情報通信サービスの利用についてお伺いいたします。

本章では、「行政」「医療」「教育」の3つの分野における情報通信サービスについて、あなたの利用状況や今後の利用意向について伺います。次に示すサービス一覧をお読みの上で、問 18-問 23 についてお答えください。

表 本調査で対象とするサービス一覧

分野	サービス	内容
行政	1. 電子申請サービス	紙で行っている申請や届出などの行政手続を、インターネットを利用して自宅や勤務先から行えるようにするものです。e-Gov などがあります。
	2. 税申告・納税サービス	税務署に出向いて行う確定申告や納税、申請や届け出など手続きを、インターネットを利用して自宅や勤務先から電子的に行えるものです。e-Tax、eLTAx などがあります。
医療	3. 健康管理 サービス	体重、血圧、歩数、活動カロリーなど健康についての各種測定データをつかって利用者の健康状態を記録・管理したり、個人に合わせた助言や情報などを提供して健康管理や病気予防をサポートするものです。パソコンや携帯電話・スマートフォンを利用したサービスがあります。
	4. 遠隔診療 サービス	直接、病院や診療所に行かなくても、インターネットを通じて、医師の診察や診断を受けることができるものです。テレビ電話などを利用した診察や、診療データなどを送付して行う診断サービスなどが挙げられます。
教育	5. オンライン教材	インターネットを通じて、電子化された教材をパソコンや携帯電話・スマートフォンやタブレット端末などから利用できるものです。
	6. e ラーニング (遠隔教育サービス)	インターネットを通じて、試験等を受けたり、国内外の教育機関(大学、予備校、語学学校、資格学校等)の授業を受けることができるサービスです。テレビ電話などで教師と実際に会話等ができるものも含まれます。

問 18. 上に示したそれぞれのサービスについて、次の問にお答えください。((i), (ii) は、○は一つだけ)

- (i) : あなたは、このようなサービスの名前について聞いたことがありますか。
- (ii) : (i) で [1. はい] を選択したサービスについて伺います。サービスの内容について知っていますか。
- (iii) : (i) 又は(ii) のいずれかについて [1. はい] を選択したサービスについて伺います。どのような方法で聞いたり、サービスの内容を知ったりしましたか。

当てはまるものすべてについて○をつけて下さい(選択肢9の場合は一つだけ)

分野	サービス	(iii) 名前を聞いたり、内容を知ったりした方法													
		(i) 名前		(ii) 内容		テレビ	ラジオ	新聞	ウェブサイト	雑誌	電車の中吊り広告等含む)	広告(チラシポスター、)	口コミ	その他	覚えていない
		はい	いいえ	はい	いいえ										
行政	1. 電子申請サービス	→	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2. 税申告・納税サービス	→	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
医療	3. 健康管理サービス	→	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4. 遠隔診療サービス	→	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育	5. オンライン教材	→	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	6. e ラーニング	→	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問 19. 各サービスについて、次の問にお答えください。(i)～(iii)それぞれについて、一つずつ○をつけて下さい。

- (i) : それぞれのサービスについて一度でも利用したことがありますか。
- (ii) : (i)で[1. 利用したことがある]を選んだサービスについて伺います。最近利用したのはいつですか。
- (iii) : (i)で[1. 利用したことがある]を選んだサービスについて伺います。どの程度の頻度で利用していますか。

分野	サービス	(i) 利用状況			(ii) 利用時期					(iii) 利用頻度						
		利用したことがある	利用したことがない (他の手段を使っている)	利用する必要がない	3か月前以内	3か月前～6か月前以内	6か月前～1年前以内	1年前～2年前以内	2年より前	ほぼ毎日	週3～4回	週1～2回	月1～3回	数か月に1回	年1～2回	1度のみ
行政	1. 電子申請サービス →	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
	2. 税申告・納税サービス →	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
医療	3. 健康管理サービス →	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
	4. 遠隔診療サービス →	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
教育	5. オンライン教材 →	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
	6. eラーニング →	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7

【 問 20～問 21は、問 19(i)で[1. 利用したことがある]を選択したサービスについてお答えください 】

問 20. 問 19の (i)で[1. 利用したことがある]を選んだサービスについて、次の問にお答えください。

(i)～(iii)それぞれにおいて、下記選択肢の中から、当てはまるものすべてについて回答欄の番号に○をつけて下さい。

- (i) : どの機器で利用されていますか。
- (ii) : どの場所で利用されていますか。
- (iii) : どのような目的で利用していますか。

＜問 20の回答欄＞

分野	サービス	(i) 利用機器							(ii) 利用する場所					(iii) 利用の目的					
行政	1. 電子申請サービス →	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
	2. 税申告・納税サービス →	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
医療	3. 健康管理サービス →	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
	4. 遠隔診療サービス →	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
教育	5. オンライン教材 →	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
	6. eラーニング →	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

((i) 選択肢)

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅のパソコン | 4. スマートフォン (iPhone、Android 端末等) |
| 2. 自宅以外のパソコン | 5. タブレット型端末 (ipad 等) |
| 3. 携帯電話 (PHS、携帯情報端末 (PDA) を含む) | 6. インターネットに接続できるテレビ |
| | 7. インターネット対応型家庭用ゲーム機・その他の機器 |

((ii) 選択肢)

1. 自宅 2. 学校・職場 3. 学校・職場を除く公共施設 4. それ以外の外出先 (移動中含む) 5. その他

((iii) 選択肢)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 自分の都合に合った時間に利用するため | 4. 早くサービスを利用するため |
| 2. サービスの利用に係る手間を省くため | 5. 人に会わずに気軽にサービスを利用するため |
| 3. 自分に合った内容のサービスを自由に選ぶため | 6. その他 |

問 21. 問 19の(i)で[1.利用したことがある]を選んだサービスについて伺います。各サービスの評価について、次の問にお答えください。

- (i) : 利用して満足していますか。下記選択肢の中から、回答欄の番号に一つだけ○をつけて下さい。
- (ii) : どの程度生活に役立っていると思いますか。下記選択肢の中から回答欄の番号に一つだけ○をつけて下さい。
- (iii) : 利用においてどのような利点があると思いますか。下記選択肢の中から当てはまるものすべてについて回答欄の番号に○をつけて下さい。

<問 21の回答欄>

分野	サービス		(i) 満足度				(ii) 役立ち度				(iii) 利用の利点							
行政	1. 電子申請サービス	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	2. 税申告・納税サービス	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8
医療	3. 健康管理サービス	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	4. 遠隔診療サービス	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8
教育	5. オンライン教材	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	6. eラーニング	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8

((i) 選択肢)

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

((ii) 選択肢)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に役に立っている | 3. あまり役に立っていない |
| 2. やや役に立っている | 4. 全く役に立っていない |

((iii) 選択肢)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. いつでも手続きができる | 5. 記入ガイドやヘルプ機能がある |
| 2. 待ち時間、往復時間などがなくなる | 6. インターネットを利用すると特典やメリットがある |
| 3. コスト（交通費など）が削減できる | 7. 自分のニーズに合ったサービスだけを選んで受けられる |
| 4. 資源を削減できる（紙が不要など） | 8. その他 |

問 22. 問 19の(i)で[2.利用したことがない(他の手段を使っている)]を選んだサービスについて伺います。そのサービスを利用しない理由について、下記選択肢の中で、当てはまるものすべてについて回答欄の番号に○をつけて下さい。

<問 22の回答欄>

分野	サービス		利用しない理由								
行政	1. 電子申請サービス	→	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2. 税申告・納税サービス	→	1	2	3	4	5	6	7	8	9
医療	3. 健康管理サービス	→	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4. 遠隔診療サービス	→	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育	5. オンライン教材	→	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	6. eラーニング	→	1	2	3	4	5	6	7	8	9

(選択肢)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. インターネットで提供されていることを知らないから | 5. 使い方が難しそうだから |
| 2. わからないところは誰かに教えてもらわないといけないから | 6. 相手先の顔が見えないと信用できないから |
| 3. 個人情報漏えいなどセキュリティ上の不安があるから | 7. サービスの利用時間が限られているから |
| 4. サービスの全てが電子化されていないから
(別に書類も出さなければならない等) | 8. 従来のやり方で満足している、困っていないから |
| | 9. その他 |

【 全員の方にお伺いします 】

問 23 各サービスのあなたの今後の利用意向について、次の問にお答えください。

- (i) : 今後(も)利用したいと思いますか。下記選択肢の中から、回答欄の番号に一つだけ○をつけて下さい。
 (ii) : (i) で[1. 利用したいと思う]と回答したサービスについてお伺いします。利用の効果やメリットについて何を期待しますか。下記選択肢の中から、当てはまるものすべてについて回答欄の番号に○をつけて下さい。

問 23の回答欄

分野	サービス		(i) 利用意向		(ii) 期待する効果・メリット							
			1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
行政	1. 電子申請サービス	→	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
	2. 税申告・納税サービス	→	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
医療	3. 健康管理サービス	→	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
	4. 遠隔診療サービス	→	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
教育	5. オンライン教材	→	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8
	6. eラーニング	→	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8

(i) 選択肢)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 利用したいと思う | 2. 利用したいと思わない |
|-------------|---------------|

(ii) 選択肢)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. いつでも手続きができる | 5. 記入ガイドやヘルプ機能がある |
| 2. 待ち時間、往復時間を節約できる | 6. インターネットを利用すると特典やメリットがある |
| 3. コスト（交通費など）が節約できる | 7. 自分のニーズに合ったサービスだけを選んで受けられる |
| 4. 資源を節約できる（紙が不要など） | 8. その他 |

V. あなた及びご家庭のことについてお尋ねします。

問 24. 性別をお答えください。(○は一つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 25. 年齢をお答えください。(○は一つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|----------|
| 1. 19歳以下 | 3. 30歳～39歳 | 5. 50歳～59歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳～29歳 | 4. 40歳～49歳 | 6. 60～69歳 | |

問 26. 職業をお答えください。(○は一つ)

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 自営業・自由業 | 6. 中学生 |
| 2. 会社員・公務員・団体職員等(常勤の給与所得者) | 7. 高校生・予備校生 |
| 3. パート・アルバイト・フリーター等(非常勤や臨時的な給与所得者) | 8. 専業主婦 |
| 4. 大学生 | 9. 無職 |
| 5. 大学院生 | 10. その他 |

問 27. 現在学生以外の方に伺います。あなたが最後に在籍していた学校をお選びください。(○は一つ)

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1. 中学校(旧制尋常小学校、旧制高等小学校を含む) | 4. 大学 |
| 2. 高校(旧制中学校、実業学校、師範学校、女学校を含む) | 5. 大学院 |
| 3. 短大・高専・旧制高校・専門学校 | |

問 28. 家族構成をお答えください。(○は一つ)

- | | | | | | |
|----------|---------|-----------|---------|---------|--------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦二人 | 3. 子どもと同居 | 4. 親と同居 | 5. 三世同居 | 6. その他 |
|----------|---------|-----------|---------|---------|--------|

問 29. 住居の種類をお答えください。(○は一つ)

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅 | 3. その他 |
|---------|---------|--------|

問 30. 世帯年収をお答えください。(○は一つ)

- | | | |
|------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 600万円～800万円未満 | 7. 1500万円～2000万円未満 |
| 2. 200万円～400万円未満 | 5. 800万円～1000万円未満 | 8. 2000万円以上 |
| 3. 400万円～600万円未満 | 6. 1000万円～1500万円未満 | 9. わからない |

問 31. お住まいの地域についてお答えください。(○は一つ)

[北海道]: 北海道

[東北]: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

[関東]: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、

[北陸]: 富山県、石川県、福井県

[甲信越]: 山梨県、新潟県、長野県

[東海]: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

[近畿]: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

[中国]: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

[四国]: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

[九州・沖縄]: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-----------|
| 1. 北海道 | 3. 関東 | 5. 甲信越 | 7. 近畿 | 9. 四国 |
| 2. 東北 | 4. 北陸 | 6. 東海 | 8. 中国 | 10. 九州・沖縄 |

問 32. お住まいの地域規模についてお答えください。(○は一つ)

<政令指定都市>: 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市

- | | | |
|-------------------------------|-----------|-------|
| 1. 政令指定都市(東京23区含む)及び
県庁所在地 | 2. 左記以外の市 | 3. 町村 |
|-------------------------------|-----------|-------|

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。